



米合衆國貨幣委員報告書

第四号一



114
A1405
4

合衆國貨幣市場ノ安穩ヲ保タシメシメカ爲

成蹟ヲ較論ス

大正十一年四月
卷頭序 廣田 隆 譯



合衆國貨幣市場ノ安穩ハ專ラ英國ノ貨幣ヲ使用スルニ因テ能ク維持シ得ヘキヤ或ハ貿易ヲ以テ本業トナサハル邦國ノ通貨タル一元質ヲ具備セル貨幣ヲ使用スルニ因テ能ク維持シ得ヘキヤ是思考セシムハアルヘカテナル緊要ノ事項ナリ

英國ニ於テ輒近殆ト六十年ノ間ニ數度貿易上ニ風波ヲ起シ銀行ニ騷擾ヲ發シ貨幣相場ニ動搖ヲ生シタルハ著明ノ事ニシテ普ク世人ノ知ル所ナリ

千八百四十七年以來僅々二十七年ノ間ニ英國銀行ニ於テ其利子ノ割合ヲ變セシム大凡二百二十三回ノ多キニ反シ其動搖ノ甚シキ一割ヨリ二分半ノ大差ヲナセリ俱シ現今其割合二分ナリ蓋シ英國ニ於テ金本位ヲ採用シタルハ則チ千八百十六年ノ

トニシテ此年以前一百二十三年ノ間ニ利子ノ変動セシト僅ニ
十有六回ニ過キスシテ其割合モ亦決シテ四分以下ニ降ラス六
分以上ニ昇ラサリキ

識者ノ説ク所ニ依レハ倫敦府ノ貨幣市場ニ於テ斯ノ如ク數
回相場ノ動搖ヲ起スハ乃チ狭小ナル金本位ヲ存スルニ因レリ
ト云フ

アレキサンドル、バアリング、グ氏、カ一千八百二十八年ノ英國議事
院小會議ノ席上ニ於テ陳述セシ口証ニ曰ク

凡ソ泰平世界ノ遽然変シテ戰乱ノ世トナルマ或ハ凶年ニシ
テ穀物豊熟セサルマ或ハ資力不相當ノ商業ヲナスカ又ハ其
他ノ原由ヨリシテ人心ノ洶ニラ醸生スルマ毎ニ我々貨幣融通
ノ中心タル英國銀行ハ其存立ヲ維持セシカタノニ直ニ其金
貨ノ輸出ヲ遏メ或ハ時トシテハ止ラ得スシテ外邦ヨリ巨額

ノ金貨ヲ輸入スルトアリ斯ノ如キ止ムヲ得サルノ救濟法ヲ
用エルマ毎ニ多少通貨ノ減少ヲ起シ隨テ又融通ノ道ヲ擁塞
セリ云々仮令ヒ何如ナル豫防ヲ施シ何如ナル遠慮ヲ廻スア
ルモ英國銀行ヲシテ斯ノ如キ自衛ノ方法ヲ用ヒサテシムル
ト難ハス云云

若シ我英國銀行ヲシテ其貨幣ノ給備ニ於テ再々不足ヲ憂ナ
カラント欲セシメハ獨リ金貨ノミニ其使用ヲ限ラスシテ
金銀兩貨ヲ使用スヘシ是無量ノ輕辨ヲ以テ貨幣ノ充分ヲ給
備スルトテ得ヘキ得策タルマ明ラカナリ

夫レ英國銀行ヲシテ其寬急ノ場合ニ應ジ其融通ニ於テ能ク
渋滞ノ患ナカラシムルノ輕辨アル時ハ凡ソ貨幣ノ増減及ヒ
其相場ノ動搖等ノ如キ貸借及ヒ貿易上ニ大害ヲ醸ス所以ノ
モノモ亦隨テ少ナカラン

英國ニ於テ一千八百四十六年貿易上ニ事アリシ後「ロイド」ア
ツシボルトン氏ノ發行セシ一雜誌中同一ノ説ヲ記載セリ
倫敦府貨幣市場ノ不安穩ナル其一大原由ハ蓋シ英國人民ハ其
富有ト貿易トニ於テ遠ニ他邦ノ人民ニ超越スルヲ以テ其貿易
上及ヒ其銀行ノ貸借信任ノ廣濶ナルモ亦他邦ノ人民ニ超越ス
ルト云フ則チ是ナリ

抑モ貸借信任ノ法制タルマ近世開化ノ一端ニシテ其進歩スル
ト共ニ進歩シ其勢カラ得ルト俱ニ勢力ヲ得テ日一月ニ愈旺盛
ナリ且其光榮ノ一タリ緊要的ノ一タリト雖モ自他凡百ノ有益
的ニ於ケルカ如ク又多少ノ害毒ヲ伴ヘリ試ニ其害ノ最大ナル
モノヲ拳レハ貿易上ニ風波ヲ起シ理賤上ニ騷擾ヲ生セントス
ルノ傾勢則チ是ナリ而シテ其之ヲ未然ニ防クヘキ適宜ノ方略
ハ未タ人知ノ能ノ發見シ得ル處ニ非サルナリ

英國並ニ西歐羅巴ノ貨幣相場ニ於ケル劇甚ナル動搖ニ對照ス
レハ東亞細亞ハ勿論其他貿易ヲ以テ本業トナサハル諸國ノ貨
幣相場ニ於ケル動搖ハ大ニ安靜安穩ナリ斯ノ如ク貨幣相場ノ
安靜安穩ナレハ決シテ稱美スヘキトニ非ハト或ハ氏亞細亞洲カ
曾テ其通貨タル銀貨ニ需求ヲ起シタルヨリ或ハ銀行ニ騷擾ヲ
起シ或ハ貨幣ニ増減ヲ醸シ或ハ其相場ニ動搖ヲ生シ以テ世上
ニ洵ニ擾ニシテ來セシトナキハ乃チ其安穩ヲ証スルノ一ニシテ
且ツ其安穩ヨリ生シタル結果ノ一ト云ハサルヲ得ス往々其實
幣ノ相場上ニ少シク動搖ヲ生スルトアルモ貿易ノ盛衰ニ因テ貨
幣ノ多分ヲ要シ或ハ貨幣ノ少分ヲ要スルニ隨ヒ或ハ其相場ヲ
昇セ或ハ其相場ヲ降ラシハルニ過キサルナリ
金貨ハ英國ノ本位ニシテ西歐羅巴諸國ノ本位モ將ニ金貨ト為
ラント是金本位ヲ採用セシヲ促ス數多ノ理由中ニ於テ專ラ

人ヲシテ之ヲ取ランコトヲ懲懲スルモノナリト雖此是我軍ノ最
モ阻拒スル所ナリ

我合衆國ハ自國ノ内情ト自國人民ノ活潑ニシテ偉業ヲ好ムノ
性質トニ於テ已ニ貨幣上ニ數々動搖ヲ來スヘキ數多ノ理由ヲ
有セリ然ルニ今地球上ニ於テ貨幣上ノ動搖ト騷擾トニ於テハ
最モ甚シキ英國ト我通貨ヲ同一ニスルノ不幸ヲ避ケ得ヘキニ
強テ同一ニスル時ハ其不幸ノ底止スル所得テ知ルヘカラサル
ナリ

蓋シ荷蘭國政府カ一千八百四十七年ニ於テ銀ノ單一本位ヲ採
用セシ時ニ該國ノ政事家ヲシテ是ニ其意見ヲ天セシメタルモ
亦之ニ外ナラズ試ニ省ヨ一千八百七十六年第一月癸克ノ經
濟雜誌中載セテ「ロンドン」府大學校ノ經濟學博士「エス、ビセリン
グ」氏ノ一書翰アリ其書中ニ該國政事家ハ銀本位ヲ採用シタル

理由ヲ述ル所則チ左ノ如シ

凡ソ世上金本位ヲ用ユルノ國ハ殆ント英國而已ニ止マルヲ
以テ斯ノ如ク數々貨幣上ノ動搖ニ悩ムラル今我國ニ於テモ
之ヲ採用セシヨ英國同斷ノ動搖ニ羅ルヤ鏡ニ照シテ視ルカ
如シ

現今世上ニ流通スル銀貨ノ巨額ナルト銀ノ本位ニ規則スル
トハ銀價ノ能ク一定保存スル所以ニシテ是金ノ決シテ競フ
可カラサル所ナリ

一千八百七十一年ニ於テ英國ノ一經濟家モ又斯ノ如キ意見ヲ
左ニ掲グル如キ慷慨激烈ノ言語ヲ以テ吐露セリ曰ク

埃及ハ時疫ノ本府ナリ。印土ハ虎列剌病ノ本府ナル。如ク我英
國ハ貨幣動搖ノ本府ナリ。斯ノ如クナルハ實ニ我國ノ強病ニシ
テ耻辱ノ甚シキモノナリ。
〔倫敦〕スタチスチカアール、ソサエ

テ「書」ノ第三十四卷第三百五十二葉ニアリ

金ハ生産ノ不規則ナルニ加フルニ其價格ノ一定ヲ能ク保存ス
ヘキ充分ノ巨額ナク數々増減並縮シ隨テ其價格ヲ動搖スルカ
故ニ獨リ之ヲ以テ本位トスルハ乃チ凡百ノ商業ヲ以テ賭博ト
スルカ如シト云フト雖氏敢テ誣ヒタリト云フ可カラズ
假令ヒ如何ナル商賈ト雖氏金貨ヲ以テ物品ヲ購買シ其後一ウ
年若リハ二三ヶ月ヲ經テ之ヲ販賣シテ金貨ト交換セントスレ
ハ重大ノ危険ヲ蹈マサルヲ得ス若シ其商賈豫ハ此危険ヲ計リ
其賣品ニ非常ノ利益ヲ賦シ以テ己ノ危険ニ備ヘンカ之カ購買
者ニ重大ノ冗費ヲ蒙ラシメタルヲ得ス
假令ヒ何人タト雖氏一年或ハ二年或ハ三年ノ後金貨ヲ以テ
拂フヘキ旨ヲ契約スルモノ其期限ニ至リ金貨ノ相場ニ何如ノ
變ヲ生スルヤ決シテ其契約ニ締結スルノ時於テ豫ニスル丁

ヲ得サルナリ

故ニ金貨ハ銀貨ヲ以テ其價格ノ動搖ヲ防クニ非サレハ水ノ如
ク變動シテ一定ノ價位ヲ占ムルヲ得ニ蓋シ英國數年ノ經驗
ヲ以テ既ニ金貨ハ貨幣中ノ最モ變動多クテモニシテ反覆常
ナキ至危至險ノ貨幣タルヲ証明セリ今ヨリ三年前當時ノ
英國政府宰相ノ言ニ曰ク我英國ハ金貨ヲ用ヒタルヲ以テ富ミ
タルニ非ラス只既ニ富メルヲ以テ金貨ヲ採用セシト宰相又左
ノ如ク追言スルヲ得ヘシ夫レ埃及ハ時疫ノ本府ナリ印土ハ
虎列刺病ノ本府タルカ如ク英國ヲシテ貨幣動搖ノ本府ト為ラ
シハタル金貨ノ言ニ今日ノ英國ヲシテ能ク屈セララシムルモ
ノハ乃チ嚮ニ堅固良善ナル貨幣法ヲ用ヒテ以テ大ニ獲收セ
シ富ノ致ス所ナリト

若シ英國ヲシテ諸國ニ對シ金貨ノ債主ニアラサラシムル其一

頃ヲ以テ主トシテ其國ノ政略ヲ決セテラシムルニテラッレハ
其強病タリ其耻辱タルノ金本位ヲ放棄センテ疑ヒヲ待タサル
ナリ

假令ヒ英國銀行ニ於テ金貨ヲ未需スルテ數次ニ及フト雖モ能
ク我合衆國ヲ擁護シ苟モ其餘波ヲ感セテラシムルモノハ則チ
現今我合衆國ニ行ハル、不交換紙幣法ノ大徳ノ一タリ試ニ例
ヲ引テ之ヲ証センニ之ヨリ前一千八百六十六年「オバルンド」エ
ンドゴル子「銀行」カ九千万「ドル」ノ負債ヲ以テ破産セシ時
ニ當リ倫敦守ノ騷擾甚シカリシト雖モ我合衆國ニ感動ヲ及ホ
セシモノ極テ少ナカリシモ亦是我貨幣法ノ文セル所ナリ
若シ我合衆國ニ於テ金貨ヲ用ユルカ若シハ金貨ト交換スヘキ
紙幣ヲ用ユル時ハ「歐羅巴」ニ動搖ヲ生スル毎ニ必我合衆國ニ
其感動ヲ生セン英國ニ動搖ヲ生スルニ至テ特ニ然リトス我

合衆國ニ於テ金銀ノ兩本位ヲ採用スルモ尚、未タ全ク其感動
ヲ免ル、一能サルヘシト雖モ金銀ノ兩本位ヲ用ユルハ幾分カ
我通貨ノ一部ニテ歐洲ノ動搖ヲ免ルニシムルヲ得ヘシ

英國貨幣「ポンド」ト米貨「ドル」トノ得ヒラ論ス

夫レ英國ノ金貨「ソベレエ」ト「ポンド」ステ「ハリシク」ハ地球
上一般ノ「註」レ貨幣本位ニシテ凡「ク」此貨幣中ニ就テ最モ能
ク世人ノ「塾」知シ最モ廣ク世上ニ流通スル「貨」幣ナリ我々衆國ノ
金ノ單一本位ヲ拳用シタルモ亦此理由ニ因ルト是我輩委員カ
曾テ取調ヘタル證據人若干名カ異詞同意ニ申述スル所ナリ
又英貨ト米貨ノ得失ヲ論スルモノ、説ニ曰ク我合衆國ノ金貨
幣ヲ以テ物品ヲ購求スルヤ亞細亞洲ニ於テモ尚ホ我銀貨ヲ運
送シ以テ之カ價ヲ拂ハスシテ為換手形ヲ以テ其代價ヲ拂フ其
為換手形タル倫敦府ニ宛テ倫敦府ニ於テ引請ケ倫敦府ノ通貨
ヲ以テ拂フヘキ性質ノモノナリ夫レ斯ノ如ク諸國ノ商賈カ倫
敦拂ヒノ為換手形ナレハ争テ受取ラント欲スル所以ハ其為
換手形ト引換ラル、貨幣カ殊別ノ性質ヲ有スル故ナレトテ推

知スルニ足ルト我輩以為ラク然ラス遠隔ノ地方ニ在テ倫敦宛
ノ為換手形ヲ受取ラン一フ欲スル所以ノモノハ全ク其為換手
形引請人タル倫敦府商賈ノ信任ノ固ニ在テ決シテ為換手形
ト引換ラレ、貨幣ノ何如ニ関セスト
現今「ポンド」ノ名稱ヲ以テ金貨ソベレエン「」ヲ指スカ如ク千七百
九十七年ヨリ千八百二十一年ニ至ルマテノ如ク「ポンド」ステル
リング」ノ名稱ヲ以テ英國銀行ノ紙幣ヲ指セシ時モ均シク倫敦
宛ノ為換手形ヲ好ミ更ニ異ナル一ナカリシ
抑モ倫敦宛ニ為換手形ヲ受取ラン一フ欲スル所以ノモノハ倫
敦府ノ早ク既ニ字内ノ數貨銀行事業及ヒ貿易等ノ中央トナリ
信憑ノ堅固ナル一ナル所人ノ知ラサル、ト豪商家銀行及ヒ銀行
者等ノ數軒ヲ保存スルニアルナリ
此等ノ三者ニ於テ倫敦府ノ他邦ニ秀越タル 是英國人民ノ性

九

質ニ於ケル天稟ノ徳性ノ致ス所ナリ之ヲ維ヒスルモ是亦其徳
性ノ致ス所ニシテ未タ尚ホ依然トシテ存在スルハナルヲ得
ス然リト雖モ我新約克府ノ日ニ月ニ旺盛ナル競争ニ中テ
其幾分ヲ殺割セシテ以テ考フレハ不日ニシテ又桑港ノ競争ヲ
蒙リ漸ニ其力ヲ失ハン丁日ヲ期シテ待ツヘシ
千八百六十八年第六月九日知事「モルガン」氏カ合衆國上院ニ呈
上セシ報告書ニ曰ク
誰カ貿易ノ旺盛ナル進歩ニ隨ヒ我合衆國ノ都府クル新約克
或ハ桑港ノ孰レカ貿易ヲ為換ノ中央トナリ久シク歐羅巴資本
ノ專有シタル大利益ヲ我合衆國ニ賦與スル丁ナシト云フ丁
ヲ得ンヤト
一千八百七十年第三月九日合衆國上院ニ於テ衆議ノ主意ハ倫
敦、巴里、安特堤及ヒ伯靈ノ四府ニ於テ「ポンド」ヲランシ「タール」

ノ三貨ヲ以テ拂フヘキ公債證書ヲ發行シテ以テ其國債ヲ償却
セシトテ許可スヘキヤ否ヤニテリ此時前キノ「サム子ル」氏之ニ
抗論シテ曰ク

余ハ我自國タル合衆國ヲ忘ル、了能ハス余ハ我合衆國ノ世
界ノ貨幣場中ノ第一等ノ地位ヲ占メシテ了能ハス余ハ我合衆國ノ世
界ノ貨幣場中ノ第一等ノ地位ヲ占メシテ了能ハス

新約克府ハ我合衆國ノ天然ノ貨幣中心ナリ我等何ヲ以テカ
歐羅巴ノ貨幣中心ヲ循環スル了能ハス我合衆國ハ我國内
ニ於テ爰一我中心ヲ保ツヘシ

舊來ノ慣習 添ミタル卑屈高賈ハ米國ヨリ支那ニ銀貨ヲ拂フ
ニハ只ニ倫敦爲ノ爲換手形ヲ以テス一迂遠ニシテ且不利
ナル方法ノ外他ナシトガシテ信スヘケレ共是今世ノ活發ナル
高賈ノ信セサル所ニシテ此等ノ人ハ思ヒテ我合衆國ハ日本

及ヒ支那國ヨリ三十日ノ航海ヲ以テ遠スヘ 太平洋ノ海岸ニ
於テ富有ナル一大都府ヲ有シ此都府ハ則チ我銀礦ノ通用門ニ
シテ他日若シ我合衆國ノ銀貨ヲ彼用ルアラハ平素其銀貨ヨ
リ生産セル銀ヲ大ヒニ聚集蓄藏シ置キ以テ我算急ノ際ニ應
スヘキモノナリト

近頃發兌ノ倫敦「エコノミスト」新聞紙上ニ掲載シタル一説ニ曰
ク今ヤ倫敦府ノ高賈ハ東洋ニ來リ東洋ノ茶及ヒ香物類ヲ購求
スルヤ來港ニ向ケ電報ヲ掛ケ以テ合衆國ノ銀貨ヲ輸送セン了
ラ注文シ其銀貨ヲ得テ以テ代價ヲ拂フト

此説ヤ今日ニ於テハ或ハ未タ當ラスト雖モ果シテ此説ヲシテ
真ナラシムルノ時ハ豈敢テ遠シト云フヤ
使用ノ廣狭ハ暫ク論セス合衆國商賈ノ貨幣ノ代リニ貿易爲
換及ヒ銀行爲換ヲ用エル時ハ倫敦府ニ行テ之ヲ得ルヨリ來港

ニ於テ之ヲ得ルヲ以テ遂ニ利益アリトス
ロスチャイルド銀行ハ勿論其他歐羅巴洲ノ諸大銀行中既ニ桑
港ニ支店ヲ開キ代理人ヲ置テ以テ其事業ヲ営ムモノ若干アリ
我銀貨「ドルラル」ヲ英貨「ポンド」ニ比スレハ更ニ久シク世人ノ知
ル所トナリ更ニ世上ニ通用シ金銀貨幣ノ孰レニ以スルモ亦更
ニ能ク世人ニ親ミ慣レタルモノナリト云フト雖モ英國商賈ノ
富有並ニ其實直ト其貨幣ノ純量變化ナキヲ表示スル所ノ「ポ
ンド」貨幣ニ取テ耻辱ヲ加フル所以ニ非サルナリ
我合衆國ノ國會ニ於テ銀貨「ドルラル」ヲ以テ價格ヲ計ルヘキ本
位ト定メタルハ實ニ一千七百八十五年ニシテ此時ニ當リ銀貨
「ドルラル」最モ既ニ世上一般ノ通貨トナレリ
我合衆國ノ十進法ヲ以テ算フルノ制法ヲ設立シタル功ハ「モ
リス」氏ニ歸セサルヘカラスト雖モ計算ノ本位トシテ銀貨「ドルラ

十

ル」ヲ用ヒン「ト」ヲ薦議シタルハ乃チ「エフ」氏ノ功績ナ
リ同氏カ國會ニ呈上シタル建白書中に銀貨「ドルラル」ヲ價格ノ
本位トスルノ理由ヲ記セリ曰ク
我合衆國ト英國トノ關係ヲ離絶シタルハ實ニ近頃ノ「ナリ
ト」雖モ西班牙銀貨「ドルラル」ハ從來各洲ニ行ハレタル「ポ
ンド」貨幣ノ如ク人民ノ心ニ親ミ慣レテ已ニ價格ノ本位トシテ
用セラレタリ
我合衆國カ銀貨「ドルラル」ヲ採用スルニ至リタルハ西班牙所屬
ノ亜米利加ニ接近ナルト之ト我貿易ヲ為スノ旺盛ナルトニ因
レリ
全世界カ數百年ノ間金銀ノ給借ヲ得タルモ亦銀貨「ドルラル」カ
普ク全世界ニ知ラレタルモ皆モ西班牙國カ亜米利加州ノ各處
ニアル銀礦山ノ君主タリシニ因レリ尤モ西班牙國カ銀貨「ドル

十
六
八

ラ「ル」ヲ鑄造シタル原由ハ第五世「チャレス」王ノ御宇ニ當テ該國ノ
ノ地地利國ト合併セシ時其國ヨリ初メテ銀貨「ドル」ヲ得「ポ
ヘミヤ」ノ銀礦ヨリ出タル銀ヲ以テ初メテ之ヲ鑄造シ名稱ヲ變
シテ「タール」トナセリ是未タ日耳曼諸國ニ於テ銀貨ノ名稱ナ
リト此説或ハ然ラン

若シ英貨「ポンド」ハ現ニ全世界ノ價格ノ標準タルヲ以テ將來モ
亦全世界ノ價格ノ標準タラサルヲ得スト甘シテ英國ノ為ニ
一步ヲ讓ル米人「イラハ」又之ニ反シテ米貨銀貨「ドル」ニ價格
ノ標準タル面目ヲ與フル英人アリ

「ジエブラン」氏將來全世界ノ價格ノ標準ト為ルヘキ貨幣何如ヲ
論スルニ當テ西班牙及ヒ墨西哥銀「ドル」ニ就キ謂ヘル「ア
リ」曰ク

此等ノ貨幣ハ既往數百年ノ間世界ノ各所ニ於テ異議ナク算

ヘテ以テ受取ラレタリト貨幣及ヒ為換論ノ
百七十一葉ニアリ

又其書ノ百七十二葉ニ於テ曰ク

合衆國ノ銀「ドル」ヲ「ル」ノ為ニ稱贊ニヘキ數件ヲ所持セリ
此「ドル」ヲ「ヤニ」三百年ノ間泛ク世上ニ流通シ且計算ノ單位
トシテ久ク擧用セラレタル西班牙及ヒ墨西哥銀「ドル」ト
同一ノ貨幣ナリ加フルニ亦實地上ニ於テ此「ドル」ヲ擧用
セン「ド」ヲ薦ムル數多ノ原由アリト

又其百七十九葉ニ謂ヘル「ア」曰ク

世上多クハ既ニ合衆國ノ銀「ドル」ヲ價格ノ標準ト取極メ
タル實事ハ此「ドル」ヲ「ル」ノ為ニ一大勝利ヲ與ヘタルモ「ト」云
サルヲ得スト

英貨「ポンド」ヲ用ヒンカ我銀「ドル」ヲ用シカノ疑問ハ既ニ我
合衆國ノ為ニ千七百八十五年ニ我改革時代ノ先輩ニ由テ定

タラレ又千七百九十二年陸軍大将華盛頓ノ准可ノ捺印ヲ帶ヒ
タル造幣條例ニ由テ決定セラレタリ

陸軍大将華盛頓氏カ千七百九十二年ノ造幣條例ヲ准可セシ前
已テラス尚ホ千七百八十五年ニ貨幣本位トシテ銀「ドル」ヲ
拳用セン「ドル」ヲ薦贊セル「ジエフエルソン」氏ノ建白書ヲ許可セル

ヲ以テ「ドル」ヲ拳用ニ干係アルハ意ヲ留ムヘキ實事ナリ「マバ
ス」氏ノ著述華盛頓傳記九卷百二十五葉ニ掲クル「
レ」氏「送」ル華盛頓ノ書牘中ニ此事アリ

我銀「ドル」タルハ博學識才ノ理学家タル「ジエフエルソン」氏ノ薦
贊ト着實温厚ニシテ實際ニ敏捷ナル陸軍大将華盛頓ノ准可ト
ヲ得タル貨幣ナリ

此貨幣ヤ我合衆國ノ陸軍ノ軍装及ヒ國旗ノ如ク我國ノ世ニ傳
下スヘキ重寶ナリ否當ニ重寶ナル而已「テラス」我國ノ利益ナリ
現今宇内ノ貿易ト殖産ノ衰凋ニ至レル第一原因ハ貨幣ノ減

少ニ屬スルノ論

夫レ宇内ノ貿易ト殖産ノ衰凋ヲ醫セン「ト」為ニ著實ノ方法ヲ案
考セントセハ先ツ其真源ヲ推究セサルヘカラス

論者ノ主張スル所ノ原因様々ニシテ或ハ谷説相矛盾スルノ
アリ或ハ實際上決シテ存在セサルモノアリ或ハ不條理ニシテ
抱腹ニ堪ヘサルモノアリ之ヲ要スルニ其説ク所多クハ狹隘ナ

ル一地方ニ限ルノ論ナルカ若クハ物産ノ一部ニ関セルモノタ
リ故ニ到底此等ノ原因ヲ以テ宇内ノ全地及ヒ物産ノ全部ニ波
及セル衰凋ヲ生シタリト云フヘカラサルモノナリ

飯令ヒ衣食住及ヒ其他凡ソ人生ニ有用ナル各物各品ハ其求需
ニ比スレハ常ニ欠乏ナルモノナリト雖「氏」論者ハ生産物ノ求需
ノ度ニ超過セルヲ以テ貿易ト殖産ノ衰凋ヲ致セル原因ノ一ナ

リトス

夫レ人生ノ恒ニ勤勞ヲ厭ハサルハ物産ヲ繁殖セシメカ爲メニ然
ルナリ生産物ノ有カタル求即チ生産物ヲ購求ス可キ賞力ア
ル求需ハ常ニ物産ノ繁殖ト共ニ増崇スルモノナリ
抑モ供給ト需求トハ其實一物ニシテ一事ノ表裏ノ他ナラサル
ナリ是ヲ以テ何等ノ生産物ニ就テ新ナル供給アルモ其都度他
ノ生産物ニ對シ新ナル需求ヲ生スルノ基本ナリ
夫レ生産物ヲ購求スヘキ賞力ノ度ハ物産ノ多少ニ由テ精算シ
得ヘキモノナリ而シテ生産物ノ消費ヲ畫限スルモノハ其賞力
ノ製^制限ニ依ルノ外他ナシ蓋シ一二生産物ノ如キハ其製造往々
求需ニ超過スルナラシト雖モ到底其製造ニ於テ所得ニ失
フカ故ニ直チニ其濫製ヲ止メ求需ノ度ニ適スヘシ又凡百ノ諸
物ヲシテ悉ク其求需ニ超過セシモノニ欲スト雖モ得ヘカラ
サルナリ蓋シ前文ニ反セル異說ヲ主張スレ論者ハ蒸氣機関紡

績器械裁縫器及ヒ打稻器等ノ發明ヲ悲憂シ人々初産ヲ繁殖ス
ル方法ニ工夫ヲ加フヘキ才能アルノ間ニ生産物ノ汎ノ處置ヲ
施スヘキ才能アラスト信スル者ニ限ルナラン
抑モ生産物ノ製造ハ富ノ單一ナル原因ニシテ實際ニ於テハ即
チ富ノ異名ナリ故ニ製造ノ超過ハ即チ過多ノ富ト云ヘル義ナ
リ而シテ過多ノ富若クハ富ヲ生ス可キ過多ノ便利ハ速カニ世
上ニ負ヲ蔓延スル刺激物ナリト想像スルハ天下ノ通情ニ悖レ
ルモノト云フヘシ凡テ有名ノ學者ハ諸物産ノ製造超過ヲ貿易
殖産ノ衰凋ノ一原因トナスノ說ヲ以テ妄想ノ甚シキモノニシ
テ全ク取ルニ足ラズトナセリ
現今鐵道ノ建築未タ全ク整備セシテ猶ホ之ヲ急要スルナリ明
カナリト雖モ論者ハ既ニ過分ノ鐵道ヲ建築シタリト云フ
固ヨリ遠然鐵道ノ建築ニ從事スルカ爲メニ其建築ニ必用ナル

枝木及ヒ鐵等ノ物品ニ非常ノ需求ヲ生シ隨ツテ之ヲ價格ヲ騰
貴シ又多分ノ流通資本ヲシテ一時ニ斯ク大事業ニ流用セシム
ルニ由テ金利ヲシテ非常ニ貴カラシムルト之アルヘシト雖ヒ
是等ノ弊害ハ自醫スル所トナルモノナリ自醫ノ道トハ何ソヤ
此ノ如ク物價貴ク金利不廉ノ日ニ當リテハ常ニ鐵道ノ建築ヲ
止メ其必用ノ材料金利其外トモ下落ニ至ル迄ハ著手セサル
是ナリ獨リ鐵道ニ限ラス殖産及ヒ工業等ハ平素不利益ナル事
業ヨリ方向ヲ轉シテ有益ノ事業ニ就クノ傾勢アルモノナルヲ
以テ寧口之ヲ其傾勢ニ委シ自醫ニ任スルノ外何等ノ規矩ヲモ
要セサルナリ

論者ハ既ニ未タ世上ノ閑進鐵道ノ建築ヲ要セス縱令ヒ之ヲ建
築スルモ目下其利益ヲ見ルノ目途ナキヨ當リテ徒ニ之ヲ建築
シ巨額ノ資本ヲ費用シタルハ即チ是宇内ノ貿易ト殖産トニ現

時ノ衰凋ヲ來タセル原因ナリトナセリ

然リト雖ヒ不利益ノ事業ヲ起シテ費用シタル勤勞ノ損失ハ全
ク勤勞ニ求需ナキヨリ生スル損失ニ比スレハ敢テ大ナルナ
シ夫レ物價ノ低下スルヨリ一年ノ間事業ヲ休停シ由テ以テ生
シタル損失ハ十日ノ間術策ノ立タサル利益ナキ鐵道ノ建築ニ
從事スルニ由テ生スル損失ノ金額ヨリモ尚ホ甚シキモノナリ
抑モ不利益ノ事業ニ從事シテ損失シタル勤勞ハ現今ノ貿易ト
殖産ノ衰凋ヲ來セル最大原因ノ一ナリトノ説ヲシテ果シテ信
ナラシメハ後來吾國興隆ノ目途ハ既ニ盡キタリト云フヘキ
リ千八百七十三年以來吾國ニ於テ職業ナキ工人ノ一群ヲ生シ
貨幣ノ減少ト物價ノ低下トニ因テ追次殖産ノ廢頓スルニ隨ヒ
益ニ其群ニ多キヲ加フルニ至レリ今若シ其工人ノ十乃至五
十ヲシテ兩三年ノ間不利益ノ事業ニ從事セシメナハ吾カ三

百。万ノ工人ヲシテ職業ナキニ至ラシムヘキ景状ヲ生スルトセ
ハ其大數ノ職業ナキヨリ将来吾國ニ生シ来ルヘキ弊害ハ實ニ
測ルヘカラサルモノニシテ永久ニ彌ラン其弊ヤ恰モ續々不幸
ヲ増疊スルノ機能ヲ帯ヒタル無端ノ鎖繩トナラサルヲ得ス
論者ノ説ニ由レハ物品ノ低價ナルニ當リテ遽カニ生産物品ヲ
占賣シ故意ニ其價額ヲ騰貴シ或ハ贋偽ノ低價ヲ以テ資本ヲ詐
借スル等凡テ馮河ノ騙術ノ盛ナルハ乃チ現時ノ貿易ト殖産ノ
衰凋ヲ致セル原因ノ一ナリト云ヘリ

然レ氏賭博ニ於テスラ猶ホ輸者ノ失ヘルヨリ贏者ノ得ル所ノ
モノ多ヲ加ヘルノ理ナシ是ニ由テ之ヲ觀レハ真ノ國家ノ損害
トナルモノハ博奕ヲナスモノハ費ヤス所ノ時間ノ價值ニ過キ
サルナリ生産物品ノ價值ヲ遽カニ騰貴シ遽カニ低下スルモ到
底其消滅ヲ来タス丁ナク或ハ其能力ヲ損害スル丁能ハス蓋シ

思慮深クシテ勉勵ナル工人ノ繁榮ハ全ク騙術者ノ掌裡ニ在リ
トノ説ハ幸ニシテ全ク虚ナリト雖モ若シ此説ヲシテ信ナラシ
ノハ吾輩ノ不幸實ニ言フニ勝ヘサルナリ

宇内ノ貿易ト殖産ノ衰凋ニ至レルハ米國內亂普佛戰爭或ハ千
八百七十二年ト三年ノ兩年ニ於テ英國ノ石炭及ヒ鐵ノ價額
時ニ騰貴セシカ如キ一地方ノ事件ヲ以テ辨折シ得ヘカラサル
ナリ英國ノ論者ハ右千八百七十二年ト三年ノ兩年其國ニ於テ
石炭及ヒ鐵ノ價額ニ高價ニ至リタルト之ニ由テ英國ニ生シタ
ル貿易及ヒ貸借上ノ騙術ノ盛ンナリシトヲ以テ現今ノ貿易ト
殖産ノ衰凋ニ至レル原因ナリト主張ス

彼輩ハ不注意ノ貸借鐵道建築ノ詐偽銀行並ニ商賈ノ破産等ノ
行ハレシハ英國或ハ他ノ國ニ於テ千八百七十二年ト七十三年
ノ兩年ニアリシヨリモ千八百六十六年六十七年六十八年ノ三

ケ年ニ於テ甚クシカリシトハ同年英國ノ貿易上ニ騷擾衰頹ヲ
生セシニ由テ明白ナリシトヲ忘却セルナリ即チ千八百七十五
年ニ「ガウリール」銀行カ九百万弗ノ負債ヲ以テ破産シタルト千
八百六十六年「オバランド、エンド、ゲル子キ」銀行カ九千万弗ノ負
債ヲ以テ破産シタルトニ由テ確然其比例ヲ徵スルコト得ヘシ
夫レ千八百六十六年英國ニ於テ理財ノ困難ヲ生セシト斯ノ如
シト雖モ我合衆國ニ更ニ感動ヲ生セサリシハ我合衆國人ノ能
ク知ル所ナリ尚ホ且ツ其困難ノ餘波ハ歐羅巴大陸ニダモ及バ
ザリシ曾テ英國ノ學士云ヘルコトアリ曰ク千八百六十六年ハ騷
擾ハ英國ニ於テ最モ劇甚ナリシト雖モ其餘波ハ決シテ英國海
峽ヲ超ヘサリシト以上載セテ龍動府「スタチステカール」ノサエ
チ「ノ」日記第三十四卷二百四十三葉ニ「アリ」其害ハ獨リ英國ニ
ノミ止マリシハ今日ノ如ク貨幣減少ノ弊各地方ニ及ハサリシ

カエエナリ

論者ハ千八百七十三年以前數年ノ間戰爭ノ紛擾絶ヘサリシヲ
以テ方今貿易ト殖産ノ衰凋ニ至レル著明ノ原因ノ一ナリト主
張シ又物産ノ超過ヲ以テ貿易ト殖産ノ衰凋ヲ來セル最大原因
ナリト主張スル反對論者モ此説ニ雷同シ其紛擾ヲ以テ生産ヲ
停止シ富ノ蓄積及ヒ其分派ヲ妨碍シタル程ノ大乱ナリト主張
セリ
然レモ其實千八百五十九年ソルフエリノ_{地ニ}於テ苟ヲ結ヘル
伊佛間ノ戰爭ヨリ千八百七十三年ニ至ルノ間亞米利加内乱ノ
外ニ重大ノ戰爭アリシコトナシ而シテ此内乱ト雖モ我合衆國ニ於
テ富ノ増崇ヲ歷停シタルニアラス又同期限ノ間歐羅巴ハ概シ
平安ニシテ爭乱アリシコトナクカリホルニヤ反ヒオースタラリ
ヤノ鑛山發見以來其先例ナキ繁榮ノ進歩ハ何如ノ障礙的ト雖

氏敢テ停遮スルヲ得ザリキ普澳戦争ノ如キハ僅カニ數日間ニ過キス佛普戦争ノ如キモ亦僅カニ數週ノ間ニシテ只一城ノ圍ミニ由テ數月ニ彌リタルノミ澳伊間ノ葛藤ハ只一日ノ陸戰ト海上ニ於テノ一小戰トニ由テ其局ヲ結ヘリ此等ノ數件ハ政事上ニ於テ重大ノ結果ヲ生セリト雖氏素ト場所ト時日トニ限制アリシモノタルヲ以テ貿易上ト殖産上トニ來セシ結果ハ著明ナラス且大關係ナキモノナリシ況ヤ千八百四十八年ト四十九年ノ兩年ニ於ケル歐羅巴諸國ノ革命争乱ノ結果ノ如キハ貿易ト殖産上ニ關係アリト言フ可ケンヤ抑モ現今貿易ト殖産ノ衰凋ニ及ヒタル一原因トシテ戦争ノ紛擾ヲ主張スルハ事實ノ引証ニ於テ錯誤スルノミナラス尚ホ且其理論上ニ於テモ亦當ラ得サルモノト謂フヘシ論者請フ我輩ノ述フル所ヲ聞ケ夫レ千八百七十三年ニ理取上ニ騷擾ヲ生シ

タルハ社會ノ進歩カ同年以前ニ戦争或ハ其他ノ諸原因ニ由テ妨碍セラレタルノ故ニ非スシテ金銀貨幣ノ給備居据リニ至リ漸々減少ノ勢ヲ現出セシニ社會ノ進歩駁々トシテ禦クヘカラサルノ弊ニ至リタル全ク反對ノ實事ニ由レリ論者或ハ日ヲ現今貿易ト殖産ノ衰凋ニ趣クテ醫スルノ方法ハ價金ヲシテ堅固ナル基礎ノ上ニ降下セシムルニアリト然リト雖氏價金ノ議論ハ即チ之ヲ測算スル本位ノ議論ノ他ナラサルナリ夫レ金銀兩貨ヲ使用スルニ當リテ一日ニ二圓ノ給料ハ只ニ金貨ノミヲ使用スルニ當リテハ低位ナリト雖氏固ク堅固ナル基礎ノ上ニアルモノナリ而シテ金貨ノミヲ本位トスルノ時ニ當リテ堅固ナル基礎ノ上ニ於ケル價金ト稱スルモノモ一朝新法ヲ設ケテ貨幣ハ只ニ金剛石ノミヲ以テ鑄造スヘシト制定スルニ至ラハ反テ騰貴シタル價金ト云ハサルヲ得ス

ルソ價金ナルモノハ貨幣ト他品トノ割合ヲ示フノ他チラスシ
テ到底其間ノ至當ナル割合ヨリ他ノ割合ヲ云フヲ得サルモノ
ニシテ斯ク正當ノ割合ヲ顯ハシタル時ニ當リテハ價金ハ高早
ニ論テク確乎タル基礎ノ上ニアルモノナリ何トナレハ高早ニ
論テク價金ノ位ハ貨幣ノ高ト他品トノ間ノ割合ニヨリテ定
ハナリ

方今ノ幣害ハ信任ノ滅亡缺欠ヨリ生シタルモノナレハ之ヲ醫
スルノ至當ナル良法ハ信任ヲ恢復スルニアリトハ論者ノ主張
スル所ニシテ常ニ論者ハ辞ヲ飾リ文ヲ舞ハシテ財主等カ殖産
ヲ興シ貿易ヲ奨励シ以テ廣ク信任ヲ表スルニ至ラハ將サニ天
下ニ生出スヘキ繁榮ノ景況ヲ噴々謀々トシテ影寫セリ
論者ノ如キハ他人ニ其信任ヲ廣クシテ之ヲ懲息スルト雖モ已ラ
顧ミレハ鎖少ノ信任ヲ實質表セントニ注意セサルヲ見ル可シ

要スルニ論者ハ他人ノ信任ニ乘シ利ヲ射ルニ臨ンテ自ラ信任
ヲ廣ムル中ハ已ラ損失ノ中ニ溺没スルヲアルヘシトノ恐懼ニ
由テ知ラス識ラス幾クカ感動セラルハテ見ルヘシ
蓋シ方今貿易ト殖産ノ衰凋ヲ生シタル真源ハ信任ノ滅亡缺欠
ニ非ラスシテ信任ヲ生スル正當ノ根據ノ缺欠ニ在リ然リ而シ
テ貨幣ノ益々減少スルト物價ノ愈々低下スルトノ底止セサル
ノ間ハ仮令ヒ信任ヲ恢復セントスルモ或ハ擴張セントスルモ
能ハサルモノニシテ又決シテ願フヘカラサルモノナリ
方今ノ状態ニ於テハ信任ヲ恢復スルヲ能ハサルマ明カナリ
雖モ萬一之ヲ恢復スルアルモ到底其結果ハ有益トナラスシテ
却テ有害トナルナラン今日ノ形勢ハ千八百七十三年ノ騷擾以
前ノ景況ト概子同一ナリ即チ貨幣ノ高ハ縱令ヒ千八百六十五
年ヨリ千八百七十三年ニ至ルマテノ如ク其減少迅速ナラスト

雖他品ニ此スレハ驟々乎トシテ減少シ物價ハ愈々下落ニ至ルノ勢アリ特ニ現今ト千八百七十三年以前ト異ナル最大ノ點ハ千八百七十三年以來銀行ノ信用大ニ縮少シ殆ント止ムニ近キカ故ニ騷擾ヲ醸成スヘキ元素ハ以前ノ如ク多カラサル了即チ是ナリ

抑モ現今續々起ル所ノ破産倒行ノ如キハ千八百七十三年ノ如ク甚シキ騷擾ヲ起サス又世人ノ左マテ注目スル所ニ非ルナリソノ然ル所以ハ他ナシ現今ノ破産タル千八百七十三年ノ破産騷擾ノ如ク銀行高社ノ破産等ト同時ニ起ラサルト著ルシカラサルカ故ナリ然リト雖モ今マ破産倒行ハ我合衆國ノ各地ニ於テ續々増加ノ色アリ抑モ斯ノ如ク各地ニ離散シタル破産力幸ニ未タ全國一般ノ破産騷擾ニ變化セサル所以ハ信任ト信用トノ二者ヲ欠リカ故ナリ故ニ今若シ此二者備ハラハ全國一般ノ

騷擾ヲ来スハ明カナリ千八百七十三年ノ破産騷擾ハ要スルニ信任ト信用ノ擴充シ過キタルニ由レリ然ルニ同年ニ均シキ景況ノ今日ニ於テ信任ヲ恢復スルハ新ニ破産騷擾ヲ起スノ嚮導トナラサルヲ得スコハ恰カモ商業ノ基礎ノ下ニ火藥ヲ伏シ未

来ノ破烈ヲ俟ツモノ、如シ
信任ヲ恢復スルヲ得ヘキヤ否又今日ノ状態ニ於テ之ヲ恢復スルハ願フヘキモノナルヤ否ヲ斷了スルニ先ツテ如何ノ事項ニ於テ信任ヲ失亡シタルヤヲ了解スルヲ以テ緊要ノ事トナスナリ試ニ着ヨ不動産若クハ其他有用物ノ真價ニ於テ信任ヲ失シタルヲナク又土地ノ所得或ハ人民ノ伎倆、勉勵、實直ノ性、或ハ政府ノ堅固、或ハ勤勞ノ報酬、器械、利益等凡ソ此等ノ諸事諸物ニ於テ苟モ信任ヲ失亡シタル了ナシ
蓋シ現今ノ廢銀令ニ由テ貨幣ノ高漸々減少スルニ當リ物價ヲ

維持シ能フヤ否ノ一點ヲ除ケハ何等ノ事ニ於テモ信任ヲ失亡
シタルノ徴ヲ見ス尤モ生産ノ事業ニ施シタル資本ハ所得ヲ生
シテ以テ賤主ニ還歸スルヤ或ハ所得ナシト雖モ亦損失ナク還
歸スルヤ否ニ於テハ實ニ信任ヲ失亡セリ到底方今ノ狀態未ク
去ラサルノ間ハ其失亡シタル信任ヲ恢復スル丁アタハスルハ
ヒ之ヲ恢復スルモ害アリテ益ナキナリ
現今貿易ト殖産ノ衰凋シタルハ我合衆國ノ紙幣ノ價值カ未ク
確實ナラサルノ致ス所ナリト論者ハ固執セリ
右シ此ノ如キ紙幣ノ價值ニ確實ナラサルアリテ為ニ物價ノ
昇降ヲ生スル丁アラシメハ我合衆國ノ高賈及ヒ一般ノ人民ハ
其偉業ヲ好ムノ性質ヲ逞フシテ致々トシテ産業ニ從事シ專ラ
購求ヲ勉ムヘシ是嚮キニ我内乱ノ際ト其後トニ於テ紙幣ノ價
値確實ナラサリシ時ニ當リ實見セル所ナリ

蓋シ貿易ト殖産ノ衰凋ニ至ル真源ハ論者ノ云フ所ト反對ノ
實事ニ歸スルモノニシテ則チ其真源ハ將來紙幣ノ價值ノ確實
ナラサルニアラスシテ現今ノ廢銀令ニ由テ紙幣ノ價值尚ホ騰
貴シ物價愈々下落スルノ確實ナルニアルナリ
夫レ千八百七十三年ノ騷擾以前兩三年ノ間諸物價一般ニ騰貴
シタルトノ説ハ其當ヲ得サルモノト云フヘシ抑モ物價ノ騰貴
最高ノ點ニ達シタルハ千八百六十五年ノ前後ニアリタリ然リ
而シテ其年ヨリ千八百七十三年ニ至ルマテハ物價一般ニ下落
ノ形況ヲ示セリ尤モ貨幣ノ供給物價ヲ支フルニ足ラサル
ヒ又物價信任タル不堅固ナル基礎ニ依ラサルヲ得サルニ至リ
タルノ後猶ホ七八年ノ間物價低降セシテ堅固ニ續キタルハ
之ヨリ前ニ貨幣ノ供給一時非常ニ多量ナリシ丁ノ致ス所ナリ
千八百七十三年ニ信任ノ基礎遽カニ瓦解シ物價賤産銀行商家

共ニ活刺トシテ一時ニ崩潰セリ

合衆國ニ於テ夥多ニシテ貴重ナル財産ノ種類タル不動産ノ其價ヲ千八百七十一年七十二年七十七三年ノ三周年間維持スルヲ得タルハ只ニ書入質而已ニ由リタル丁ハ普ク世人ノ知ル所ナリ此方法ニ由テスラ猶ホ不動産ノ價ヲ維持スル丁ヲ得ハ只ニ述時速カニ旺盛ニ赴ケル都邑ニ於テノミニシテ他ノ地方ニ於テハ地價ノ下落ヲ免ル、丁能ハスシテ千八百七十一年ヨリ七十三年ニ至ルノ間ト其以前數年ノ間耕地ノ價ハ非常ニ低下セリ固ヨリ二三物品ノ價ハ千八百七十一年ヨリ七十三年ニ至ルノ間高點ニ位セリト雖此是例外ノ原因ニ基ツキタルモノナリ試ニ其一ニヲ舉レハ鐵道建築ノ故カニ擴及シタルニ由テ右三ヶ年ノ間ニ鐵價ノ非常ニ騰貴セシ如キ即チ是ナリ此等ノ為ノ英國ニ於テ鐵ト石炭ノ兩品ニ就テ大投機商賣ヲ起スニ

至リタリ然レ此等ノ物品ノ高價ナルヲ以テ其年ノ間諸物品カ高價ナリシヲ徴スヘカラサルハ猶ホ我亞米利加ノ内亂ノ際ト直チニ其後トニ於テ生綿ノ高價ナリシテ以テ諸物品カ高價ナリシヲ徴スル丁能ハサルカ如キナリ抑モ物價下落ノ頓勢ハ既ニ千八百七十三年ニ其芽ヲ生シ日耳曼國及ニ我合衆國ノ燒銀ノ舉ニ由テ急劇ヲ加ヘリ

現今宇内ノ各所ニ波及シタル貿易ト殖産ノ衰凋ヲ來セル眞源ハ貨幣ノ數減少ニ赴キタルニ由リ宇内一般ノ物價下落致シタルノ實事是ナリ此幣ヤ一部ハ人生ノ不幸ト云フヘシ何トナシ人勉勵シテ礦山ヲ開掘スルモ宇内ノ増崇シタル貨幣ノ我需ニ應スルニ足ルヘキ金銀ノ高ヲ生出スル丁アタハサル既ニ數年ニ涉レハナリ然レ此幣ヤ又其一部ヲ金銀中ノ一箇ヲ廢棄シ以テ天然ノ幸福ヲ放却シタル人間ノ痴愚ニ歸セサルヘカラス

現今宇内ノ貿易ト殖産トヲシテ衰凋停滞ノ景況ニ至ラシメ今
ニ至ルモ猶ホ其害ヲ漸々巨大ナルモノト爲サントスルハ乃チ
此痴愚ナル下策ニ由テナリ
宇内ノ博識穎敏ナル諸人及ヒ諸會社等ハ遠隔茫渺タル事物ヲ
穿鑿スルニ適當シタル器械ヲ具足スルヲ以テ近接手許ノ物
ヲ觀察研究スルニ適セサルノミナラス之ヲ爲ストモ能ハサル
モノ、如シ故ニ現今貿易殖産衰凋ノ原因トシテ牽強附會不明
不實ナル夥多ノ事情ヲ排述シテ其說ノ相合ハサル恰モ方枘圓
鑿ノ如シト雖モ迂遠曖昧ニシテ一モ取ルニ足ラス
是ニ由テ之ヲ觀レハ此輩ハ實ニ暗黒ナル眼鏡ヲ照シテ事物ヲ
觀察セシモノト云フヘシ然ラサレハ何ソ其手許坐側ニ現存
セル原因ニ着目セサルノ理アラシヤ又常ニ貿易物産ノ衰凋ニ
先導シ且ソ之ヲ誘出スル所ノモノハ即チ其原因タルヲ發見ス

二丁三

ル丁能ハサルノ理アラシヤ現今ノ貿易ト殖産ノ衰凋ヲ来セル
眞源ハ貨幣ノ減少ニ由ルヲ發見シ得サルノ理アラシヤ是即
チ現今ノ貿易ト殖産ノ衰凋ニ及ヒタル最大ノ原因ナリ總テ此
他ノ原因ハ支系ナルカ枝葉ナルカ或ハ眞源ノ結果ナルカ或ハ
又眞源ヲ扶翼スル一部分ナルカ此數者ヲ出テス
凡ノ實際ニ長シタル人ハ總テ現今ノ幣^幣ノ如何シテ察シ諸人同
一ノ見ヲ爲シ辞ヲ飾リ章ヲ^修テ已ノ思考ヲ修飾スルヲナリ
皆同一ニ此幣^幣ヲ顯明セリ即チ大小ノ賤主カ起産興業ノ爲メニ
其財資ヲ施ストテ肯セサルニ於テ之ヲ顯明セリ
蓋シ大小ノ賤主カ其資本ヲ施ストテ肯シセサルノ理由トシテ
異口同音ニ述ル所ノモノハ物價下落ノ時ニ當リテハ貨幣ヲ以
テ最良ノ蓄積品トナスト云フノ外ナラサルナリ
縱令ヒ此輩ハ物價下落ノ眞源ノ如何ニ於テハ其意見合一セス

義旨

或ハ其如何ニ付テ何等ノ説ヲモ立ツルノ勞ヲナサスト雖此物
價既ニ下落シ今ニ至ルモ猶ホ漸々下落ニ赴クテ目撃シ得ル
モノナリ抑モ商業ノ衰凋ト之ニ從テ起ル負債ノ嚴促雇傭ノ減
少給料ノ下落消費ノ減縮等ヲ生シタルハ是物價ノ下落ニ由テ
然ルハ既ニ諸人ノ見易キ所ニシテ又已ニ此輩ノ目撃セ
ナリ

蓋シ物價ノ下落ハ即チ貨幣ノ價格騰貴ノ異名ナルノ外他ナラ
ス故ニ貨幣ノ高ヲ減少シテ其價格ヲ今ヨリ尚ホ更ニ騰貴セシ
メント欲スルモノニシテ今ヨリ尚ホ一層物價ヲシテ下落セシメ
距離ヲ廣深ヲラシメント願フモノナリ
夫レ資本金ハ即チ職工ニ給料ヲ拂フヘキ款本ニシテ資本金ハ
只ニ勤勞者ヲ雇使スルニ由テ利益ヲ生シ勤勞者ハ又資本金ニ

由テ其營生ヲナスモノナリサレハ日々ノ給料ニ據テ營生ヲナ
シ手足ノ外ニ資本ヲ有セサル勤勞者ニ對シテ其住所ヲ變シテ
他地ニ移リ耕作ノ事業ニ從事セヨト忠告スルモ亦タ何ノ益ア
ランヤ

移住ノ費用ハ數多ノ勤勞者ノ所有セサル所ナレバ須ク假ニ之
ヲ所有スルト為スモ猶ホ種々農具及ヒ家畜ヲ之ニ供シ保セテ撤
種ノ時節ヨリ收穫ノ期ニ至ルマテノ間營生ヲナスノ資本ヲ給
與セサルヲ得サルヘシ

或ハ勤勞者ニ對シテ汝等自ラ手業或ハ製造ノ業ニ從事セヨト
忠告スルモ是亦一層益ナキト明了ナリ近時ニ於テハ人間ノ勤
勞ヲ機關及ヒ器械ト合用スルニ非レハ利益ヲ得ル丁能ハサル
ナリ夫レ物價ヲシテ駁々下落セシメ為メニ資本ハ余儀ナクモ
其自衛ヲ計リ起産興業ノ資金タルヲ止ムルカ如キ處置ハ全ク

貨幣ヲ廢棄シ物ト物トノ交換ノ舊法ヲ再興セシヨリモ一層不幸ノ地位ニ勤勞者ヲ置俗心ノ處置ト云ハサルヲ得ス縱令ニ資本金現存スト雖氏之ヲ用ヒサレハ勤勞者ノ不幸ヲ免レサル丁恰モ其現存セサルニ均シ夫レ物價下落ノ影響ハ大財主ニ於ケルモ小財主ニ於ケルモ一様ニシテ厚薄アル丁ナシ凡ソ大小ニ論ナク財主ヲシテ甘ンシテ産業ノ危険ト勤勞トヲ擔任セシムルモノハ乃チ利益ヲ得ルノ期望ニ由テナリ故ニ財主ハ其蓄積シタル資本ヲ必然亡失スルノ事業ニ施サンヨリハ寧口之ヲ消費セン丁ヲ欲スヘシ固ヨリ可成大徐々ニ之ヲ消費シ其入費ヲ可成大制限減少スルヤ論ヲ俟タスサレハ勤勞者ハ其職ヲ失ヒ産業ニ從事スル丁アタハサルヲ以テ如何シテカ其營生ノ計ヲナサハルヲ得ス然リト雖氏勤勞者ノ依テ以テ營生ノ計トナス所ノモノハ人ニ雇使セラレテ得ル鎖少ノ貨銀ト現

存ノ資本トヲ除テ他ニ道ナシ此二者ハ勤勞者ニ食餌ヲ給與シ以テ其饑餓ノ患ヲ免レシムルモノナリ貨幣ノ減少ト物價ノ下落トハ現今ノ弊害ノ原因タル丁ハ之ヨリ八十年前倫敦「エコノミスト」新聞ノ前會計年間千八百六十九年ノ警蹟中ニ詳カナリ即チ其文ニ曰ク方今年々金ノ三千万「ステルリング」ノ給備ハ宇内ノ漸々擴張スル貿易ノ需用ヲ充實シ貿易及ヒ物産ノ金銀兩貨ニ對セル壓迫即チ實際上ニ就テ云ハ物價及ヒ給料ノ續々下落ニ赴ク丁ヲ止ムルノ外他ナシト云フモ誰カ敢テ間然センヤ云々」蓋シ後未實ノ危険ト云フハ方今ノ給備減少スヘキニアリ方今世上ニ發生シ得ヘキ最大至良ノ事件中地球ノ遠隔ニシテ曾テ人ノ知ラサル三四ノ地方ニ於テ無盡藏ナル金礦ノ發見之アルヘキ丁是ナリト

千八百六十九年以來現ニ起リタルモノハ新鑛ノ發見ニ非ラス
シテ却テ舊鑛ノ出金大ニ減少シタルニアリ當時年々一億五千
万ドルラールノ供給ヲ以テ漸ク需求ニ應スルト思考セシガ其高
終ニ一億一百万ドルラールニ減少セリ然ルニ同時ノ間ニ貨幣ノ
需求必要ハ續々トシテ大ニ増加ヲ致セリ夫レ貨幣ノ供給益々
減少スルニ乘シテ其需求愈々増加スルハ是人間ノ大不幸ト云
フヘシ然ルニ我合衆國ハ勿論其他數多ノ貿易國ハ此避クヘカ
ラサル弊害ヲ人為ノ崩壞ニ変セント欲スルモノ、如ク廢銀ノ
令ヲ出セリ

千八百七十三年三月十五日出板ノ倫敦「エコノミクス」新聞中千
八百七十二年間會計年度ノ誓蹟ヲ論シ廢銀ノ舉ノ避クヘカラ
サル結果ヲ豫定シテ以テ左ノ數語ヲ掲載セリ
千八百七十二年ノ末ニ臨ミ日耳曼ノ金貨鑄造高ハ總計二千

一百万「ステルリ」ナリ左ニ記載セル「デエリ」ニウス新聞ノ
博學多識ナル記者ノ文ハ近世ノ實事ヲ顯ハシ世人ヲシテ能
ク其貴重ナル性質ニ注意セシムルニ足ルモノナリ此法ニ因
テ日耳曼國政府ハ素ヨリ英國ノ本位タル單一金位ヲ採用シ
タルヲ以テ英國ニ對シテ慇懃ヲ盡セリ然レ此法ニ因テ日
耳曼國ハ倫敦並ニ其他ノ貨幣市場ニ於テ損失スルヲ必ラス
巨大ナラサルヲ得ス
夫レ宇内一般毎年ノ金貨ノ供給ハ二千万封度以上ニ僅ニ昇
ルノミニシテ雜用ニ供スル為メ之ヲ需求スル高巨大ナルカ
故ニ若シ日耳曼政府カ其法ヲ固執セハ現存セル公債証書及
ヒ通貨ノ需求急遽ニ至ラン金々々ノ出產忽然増加スルニ
非レハ宇内ノ貨幣市場ハ必ラス此地金ノ拂底ノ為メニ騷擾
スルニ至ル可シト

日耳曼國及之ニ同フスル我合衆國其他諸國ノ廢銀ノ舉ノ此
ノ如キ避クベカラサル結果ハエコノミス」記者ノ言ノ如ク果
シテ今日現ニ生出スルニ至リタリ然レ其將ニ生出セントス
ル結果ヲ前知前言シタル夥多ノ論者カ説ク所ハ實ニ奇ナリ妙
ナリト云ハサルヲ得ス其然ル所以ノモノハ他ナシ方今貿易ト
殖産ノ衰凋ヲ来セルハ物價及ヒ給料ノ續々下落ニ傾赴スルニ
由リ其衰凋ハ之ニ陪從セサルヲ得サルモノニシテコハ廢銀ノ
舉ナル不正ニ原シ不幸ニ終ル一大失策ノ自然ノ結果タリト普
ク世人カ確認スルヲ否ラストナス」即チ是ナリ
此舉ノ痴愚タルヤ現今貿易ト殖産ノ全部ニ波及セル大衰凋ノ
最大原因タル廢銀ノ舉ノ未タ止マサルニ際シテ舊来ノ繁榮ヲ
回復セントシテ企望スルノ痴愚ニ比スヘキモノニシテ他ニ比較
スヘキモノナシ

仮令ヒ金銀ノ兩貨ヲ使用セシト雖モ猶ホ其兩貨ニ對セル貿易
ト物産ノ最モ有害ナル壓迫ナキヤ否ヲ保スヘカラサルニ金銀
中孰レカラ廢棄スレハ害ヲ生セン」必セリ是ヲ以テ此舉ヲ主
張スル者ハ自ラ知テ之ヲ為スモ亦知ラスシテ之ヲ為スモ人間
ノ公敵ナリト云ハサルヲ得ス
千八百七十三年ニ發生セル歐羅巴ノ貿易ト殖産ノ衰凋ハ礦山
開掘、鑛道建築及ヒ製造所等設立ノ為メニ募集セシ新株式及ヒ
新公債証書ヲ歐羅巴ノ市場ニ販賣セシ高ニ付有名ナル「ブルセ
ル」府ノ「モニーウル、テイ」ンテレマテリ「ユ」新聞ニ掲ケタル一覽
年表ニ明カナリ
仮令ヒ此年表ノ筭當悉ク詳細ナラスト雖モ又數年間ノ細密ナ
ル割合ヲ示スニ足ル可シ依テ今掲載スル」即チ左ノ如シ
千八百七十二二年 九億六千八百三十六万二千五百ドルラル

千八百七十三年 八億九千七百四十五万「ドル」
千八百七十四年 四億三千二百四十五万「ドル」
千八百七十五年 一億四千七百六十三万七千五百「ドル」
我合衆國ニ於テハ幸ヒニ其通貨ナル紙幣上ニハ廢銀ノ害ヲ蒙ラ
サリシト假想スルモ猶ホ其他ニ於テハ廢銀ノ大害ヲ免ル、
能ハサリキ
試ニ見ヨ我合衆國ニテ歐羅巴ヨリ募集セシ國債ノ重大ナル利
金ハ我國ノ產物ヲ歐羅巴ニ輸出シ之ヲ販賣シ其代價ヲ以テ之
ヲ拂フノ外手段ナシ然ルニ我ヨリ彼ニ輸出スル物産ハ日耳曼
及ヒ他ノ諸國カ銀貨ヲ廢止シ獨リ金本位ノミヲ擧用シタルニ
ヨリ歐羅巴ノ金市場ニ貨幣ノ不足ヲ生セシカ為メニ頗フル低
價ニテ之ヲ販賣セザルベカラス又我合衆國ノ紙幣モ廢銀ノ為
メニ終ニ妨害ヲ免ル、
了アタハスシテ我國內乱ノ結局ヨリ千

八百七十三年ニ至ルマテ續々大ニ減少セリ而シテ通用紙幣ノ
減額ハ金銀貨幣ノ減少ノ如ク物價殖産及ヒ貿易上ニ同一ノ映
響ヲ生セリ
千八百六十四年ヨリ千八百七十五年ニ至ルノ間ニ我合衆國ノ
通貨ヲ用エル國內ノ人負ハ千八百六十五年ニ我南部諸洲ノ人
民ノ加入ト其年以來南北西部ノ人口繁殖トニ因テ殆ント以前
ニ二倍セリ是ヲ以テ其人口繁殖ノ如ク著シカラスト雖モ稍々
大ニ合衆國ノ物産ヲ繁殖シ以テ貨幣ノ求需ノ増加ヲ致セリ然
ルニ此年間ニ當リ我合衆國ノ紙幣ハ愈々減少ノ色アリ歐羅巴
ノ正金通用ノ諸國ニ於テモ均リ亦金銀貨幣ノ減却ヲ致セリ
輒近正金拂再行條例千八百七十五年第一月十四日發行ヲ奈セ
リ今ヲ以テ考フレハ此條例ノ真理ハ其決議ノ時ニ當リテハ國
會モ之ヲ明知セス又國民モ之ヲ了解セサリシカ如シ

此條例ノ語氣カ民間ニ起シタル感覺ハ一時ニ政府ノ紙幣ヲ減
少スルニ非スシテ只ニ銀行紙幣ヲ増加スルニ隨ヒ合法紙幣ヲ
減少スルナルヘキニアリタリ然ルニ此條例ヲ實行スルニ隨ヒ
合法紙幣及ヒ銀行紙幣共ニ減少シ人口ハ漸々繁殖スルニ至
リ
蓋シ此條例ノ詞章ハ巧ミニ此政界ヲ保庇スヘシト雖氏國會カ
此條例ヲ議決シタルハ其意ヲ以テ為シタルニ非サルナリ
我合衆國人ハ殆ント上下相共ニ銀貨ハ既ニ廢棄セラレタリ故
ニ正金通用ヲ取リ極ムル法律ハ其實金貨ヲ以テ受取拂ヲ為ス
ヘキトテ取極ムル法律ナルトニ付テハ此正金拂再行ノ條例ヲ
發行セル後迄知ラサリシヨリ一層不幸ナル誤謬ヲ來セリ
蓋シ右條例發行ノ時ニ當リ我人民ハ正金ト云フハ即チ金貨ノ
事ヲ指タルトテ知ラス又其正金ヲ以テ受取拂ヲナス時ハ金貨

ヲ本位トシ以テ諸般ノ物價ヲ減縮セサルヲ得サルニ至ル可キ
トテモ知ラサリシナリ
我人民ハ正金拂ノ再行ニ同意セシモノニシテ苟モ其財産ヲ剝
奪スルトニ同意シタルニ非ラス况ンヤ右正金拂再行ノ如キハ
唯剝奪ノ異名タリシトハ夢ニタモ知ラサリシナリ
縱令ニ此剝奪ニ着手スルノ定期ハ名義上ニ於テハ未タ來ラス
ト雖氏其實條例ノ發行以來直ニ端緒ヲ開キ方今日々ニ其弊ヲ
益スノ色アリ
現今我合衆國ノ通貨タルドルラハ悉皆不日ニシテ金トシテ
ルノ價格ニ騰貴スヘキトテ法律上ニ於テ成ルヘク夫堅固ニ取
リ極ノタルカ故ニ既ニ世ノ大勢ヲシテ各種ノ財産ヲ貨幣ニ換
ヘ貨幣ヲ以テ財産ヲ買入ル、トテ肯セサラシメ又起産興業ノ
為メニ資本ヲ施ストテ肯セサラシムルニ至レリ

債主等ハ貨幣ヲ貸シ附ルモ將來物價ノ下落ヨリシテ負債者ノ
會計上ニ不幸ノ影響ヲ生シ到底償却ノ覺未ナキヲ察知シ注意
シテ後來ノ貸付金ヲ引上ケ又ハ之ヲ減少シ以テ確固タル貨幣
ヲ收獲セン^トニ汲々たり又敗主等ハ金貨ヲ以テ紙幣ヲ引換ル
モ合法紙幣ノ價格ノ騰貴ト物價ノ下落トハ唯合法紙幣ト金貨
ト現價ノ差異ヨリ以上ニ昇ル^トモナク又以下ニ降ル^トモナクシ
トスル謬見ニ付テハ須臾ノ間モ信ヲ置スシテ紙幣ト引換ノ為
ノニ數百^万ドル^ラル^ルノ金貨ヲ要スルニ當リテハ非常ニ金貨ノ
騰貴スルト^供合法紙幣モ均シク騰貴シ物價ハ合法紙幣^ハ金
貨ノ騰貴スルト同一ナル勢カヲ以テ非常ニ下落ニ至ルヘキ^ト
ヲ熟知セ^リ

縱令^レ我合衆國ノ通貨ハ實際上ニ於ケルモ亦法律上ニ於ケル
モ未タ紙幣^トリ^ト雖^レ此處銀^ノ幣^空ニ由テ既ニ貿易ト殖産ヲ衰

凋崩壞セルハ粗忽ノ見察ヲ爲ス^百ニ於テモ猶ホ見認了解シ得
ヘキハ以上ニ論述セシ如キ淺薄ノ處置ニ因テ然ルナリ
紙幣ト金貨トノ引換ハ字内ニ於テ金ノ供給後來大ニ増加スル
カ或ハ字内一般破産スルニ非レハ引換ノ期日ナル千八百七十
九年一月一日ニ至ルモ亦其他ノ日ニ及フモ到底實施スル^タ
ハスト雖^レ此徒^ニ之カ引換ニ着手セント務ムルハ我國ヲシテ破
産ニ至ラシムルノ災害ヲ醸生スル^トハ是亦以上ノ淺薄ナル處
置ヲ以テ知ルベシ
字内^到ル^處皆貨幣ノ減少ヨリシテ既ニ貿易ノ停滞ト殖産ノ衰
凋トヲ生シタルヲ今猶ホ愈々波及甚烈ニ至ラシムルノ色アル
ハ亦是以上ノ淺薄ナル處置ニ因テナリ何トナレハ我合衆國ノ
紙幣^ヲシテ稀少ナル金貨ト續々交換セン^トセハ必然貨幣ノ減
少ヲ起スノ處置ヲ實行スルノ時期既ニ迫ナレハナリ蓋シ^期

如キハ字内ノ或ル大貿易國ニ於テ我合衆國ニ特別ノ利益ヲ
亨ケシモンカ為メニ其正金通用ヲ止モンテヲ同意スルニアラ
サレハ免ル、ヲ得サルモノタリ

決議

我革委ハ既ニ論述シタル議論ト實事トニ基キ又衆人ヨリ我
革委實ニ口述書送シタル意見ヲ斟酌取捨シテ以テ國會ノ下問
質疑ニ應答スル、左ノ如シ

第一質疑

第一質疑ハ金銀ノ間ノ價位ニ於テ軌近起リタル動搖ノ原因
及ヒ其動搖ヨリ我合衆國ノ内外貿易ト理財上ト起産興業上
トニ生シタ結果ニ係ル

我革委實ハ千八百七十六年ノ英國銀事取調委員ノ説ト同意ナ
リ其説即チ左ノ如シ

銀ノ産出ハ金ニ比スレハ軌近大ニ増加シタリト雖トモ金ニ
對セル銀ノ比例ハ猶ホ著シク低下ナリ金三銀一ノ比例ヲ存
セシ時代ハ暫ラク措キ千八百四十八年ノ比例ニ較スルモ方

今亦夕低シ而シテ方今銀價ノ低下ナルハ金ニ比スレハ其産
出ノ超過ナルニ由ルニ非サル丁ハ既往數年間ノ金銀ノ此例
ヲ見聞セハ明瞭ナリト云フモ誰カ敢テ間然センヤ
方今何ノ處ニ住スル人ト雖トモ銀貨ノ低下ニ赴キタル原因ハ
銀ノ産出近頃少ク増加シタルニ在リト主張スルヲ得サルナリ
金銀ノ間ノ價位ニ輓近動搖ヲ生シタル原因ハ主トシテ日耳曼
國合衆國瑞典國那威國連馬國等ニ於テ銀貨ヲ廢止シタルト歐
洲諸國ノ造幣寮ニ於テ銀貨ノ鑄造ヲ止メタルトニアリ之ニ加
フルニ又同時ニ銀ニ對セル亞細亞洲ノ求需ノ減少ト「子バタ」銀
鑛ノ産出現今大ニ増崇シ後來モ又猶ホ大ニ増加スヘシトノ虛
説トニ由テ大ニ其勢カヲ増加セリ
凡ソ主役ニ論ナリ此等ノ諸原因ヨリ生シタル結果ハ千八百七
十六年七月倫敦府ノ銀貨市場ニ於テ一大騷擾ヲ起シ其最高ノ

點ニ達セリト雖此等諸原因中多クハ全ク一時ニシテ止メリ
即チ銀對セル亞細亞洲ノ求需ハ既ニソノ舊勢カラ復シ「子バ
タ」銀行ニ係ル妄説ハ最早既ニ霧散セリ
我輩委貞思ヒラク若シ我合衆國カ金銀兩本位ヲ回復セハ金ノ
單一本位ニ偏愛セル世説ノ蔓延ハ斷然遺絶スルヲ得ヘシ蓋
シ廢銀及ヒ其廢銀ノ一舉ヨリ金銀ノ間ニ價位ノ動搖ヲ生セシ
ヨリ我合衆國及ヒ貿易ニ從事セル全世界ニ生シタル結果ハ非
常ニ不幸ノモノナリシト雖此亦輓近銀貨ヲ廢シ既ニ金ヲ以
テ本位ト定メタル諸國ニ於テハ其結果ノ不幸ナル實ニ云フニ
堪ヘス
總テ貿易ニ從事セル國々ニ於テハ一時ニ同一ノ頭象ヲ生シ商
品及ヒ不動産ノ價格ハ下落シ政府ノ歳入ハ減少シ勤勞者ハ之
ヲ雇使スル者ナク偶雇使セラレ、モ薄給ニシテ將ニ餓孚ナラ

ントシ銀行ハ續々破産シテ電氣ノ線ヲ傳フルカ如シ
此等ノ實事ハ各所ニ現存シタルモノナレハ各所ニ發動シタル
原因ヨリ生出セサルヲ得ス而シテ此ノ如キ原因ヲ礦山ヨリ金
銀ノ供給大ニ減少シタルト人口ノ増加ト貿易ノ繁殖トニ比ス
レハ千八百六十五年以來金屬貨幣ノ足ラサルニ際シテ高價金
屬ノ一箇ノモノ即チ銀ノ貨幣タル職掌ヲ放棄シタルニ基キ貨
幣ノ不足一層甚烈ニ至リタルノ外ニ指示スルコト能ハサルナ
リ
抑モ此幣ハ千八百七十三年二月十二日ト我合衆國カ金ヲ以テ
單一本位ト取り極ノタル旨ノ法ヲ發シタルト日耳曼國カ千八
百七十三年七月ニ金ヲ以テ單一本位トスルノ法ヲ發シ曾テ千
八百七十一年十二月四日ニ發行シタル同主意ノ法ヲ實際ニ行
ヒタルトニ依テ其端緒ヲ閱キシモノト云フヘシ

曾テ金銀ノ產出^{イ入}居^{ハリ}据ナルト減少スルトヲ以テ既ニ宇内ノ金銀
貨幣市場ニ於テ其欠乏ヲ生ケリ然リ而シテ其欠乏ト騷擾トハ
恰モ近接ナル隣人ナルカ故ニ廢銀ノ為メニ其分界ヲ破壞セリ
以上説ク所ヲ以テ廢銀ノ為メニ生シタル弊害ノ性質如何ノ折
義ヲ已ニ充分ニ盡セルニ似タリ
夫レ諸國カ同時ニ施行シタル廢銀ノ一舉ヨリ直チニ追起シタ
ルモノハ即チ物價ノ下落ト起産興業ノ崩壞ト金利ノ非常ナル
騰貴トニシテ此三者ハ世人ノ已ニ目撃シタル所ナリ蓋シ金利
ノ騰貴スル所以ハ價格ヲ計ルノ標準タル貨幣ノ忽然減少スル
ニ至ルヤ必ラス追起セサルヲ得サルモノナリ
千八百七十三年以前ハ宇内一般ニ金銀ノ兩者殆ント同一ノ割
合ヲ以テ併立シ此兩者ニ依テ物價ヲ計算スヘキ標準トセリ
夫レ金銀兩者ノ中苟モ其一種ヲシテ貨幣タルノ職掌ヲ廢棄ス

ル片ハ大ニ他一種ノ價位ヲ増加シ隨テ大ニ物價ヲ低下セサル
ヘカラサルモノトス
曾テ歐羅巴及ヒ亞米利加ニ於テ公私ノ負債ヲ契約セシ時ハ實
地ニ金銀兩本位ヲ使用セシ日タリシニ今ヤ只ニ金貨ノミヲ以
テ其負債ヲ償却スヘシトナシタルヲ以テ常ニ償却ニ苦シム負
債ヲシテ一層苦難ヲ嘗メシムルニ至レリ
夫レ五千年間ノ蓄積タル三十億万ノ銀ドルラレノ正金ハ宇内
ノ貿易ノ組織中ニ織リ込ミタルモノナルヲ以テ之ヲ廢棄セン
トセハ社會上ト殖産上ト政事上ト貿易上トニ重大ノ影響ヲ生
セサルヲ得ス且ツ保存スヘキモノトシテ金貨ヲ選抜シ廢棄ス
ヘキモノトシテ銀貨ヲ放ツニ於テハ其弊害ノ及フ所巨大ナリ
トス

現今金ノ供給ハ千八百五十二年ノ供給ノ半ニ過キサルカ故ニ

大ニ減少シタルノミナラス常ニ其産出ノ動搖シテ且不順序ナ
ルハ只ニ金ノミヲ以テ價格ノ標準トナスニ不適當ナル明徴ニ
非ラスヤ
夫レ沙金ヲ洗淨スルハ只ニ少量ノ資本ヲ要スルノミト雖モ産
出限アリテ忽チ盡キルモノナリ之ニ反シテ銀鑛ノ頗フル深廣
ノ脈絡ヲナスヲ以テ之ヲ開掘セント欲セハ資本ナクシテ着手
スルコト能ハス又中途ニシテ之ヲ止メントスレハ莫大ノ資本ヲ
棄テサルヲ得サルノ患アリ故ニ銀鑛ノ産出ハ金ニ比スレハ稍
堅固ニシテ且永續スルモノナリ
蓋シ金價ノ動搖ヲ節制シ又千八百四十八年以後地金ノ供給忽
然巨大ノ増加ヲ致シタルモ貿易上ニ破産ノ不幸ヲ為サ、ラシ
メタルモノハ即チ宇内ニ通貨トシテ使用セラル、所ノ銀貨
巨額ナルト其産出ノ堅固ナルトニ因テナリ

今ヤ債主等カ放棄セントスル銀貨カ是マテ其債主等ヲ防禦セ
シニ非レハカリフルニヤ「オーストラリア」ノ両金礦ハ既ニ債主
社會ヲシテ破産倒行ニ至ラシメタルナラン

方今宇内ノ貿易愈々旺盛ノ色アリ我合衆國ノ貿易ハ特ニ然リ
トス然ルニ金銀二者ノ供給ヲ合算シテ論スレハ敢テ減少セシ
ニアラスト雖凡纜カニ居据ノ地位ヲ占ルノミ若シ別ニ金ノミ
ノ供給ニ就テ論スレハ追日大ニ減少ノ色アリトス斯ノ如ク供
給上ニ信憑ヲ置クアタハサルノミナラス又現ニ供給ノ減少ス
ル金貨ノミヲ以テ標準ト為シ之ニ據テ以テ我合衆國ト宇内ノ
廣大旺盛ナル貿易ヲ行ハントスルハ破産ノ騷擾ヲシテ痼疾ト
ナシ産業ノ衰凋ヲシテ無期ノモノトナスナリ

第二質疑

第二質疑ハ我合衆國ニ於テ金銀兩本位ヲ回復スルハ如何ト

金銀ノ間ニ定ムル法律上ノ最良ナル價位ハ如何トノ二項ニ
係ル

我輩委員ハ金銀兩本位ヲ回復シ金銀兩貨ヲ限制ナク鑄造スル
トヲ薦議スト雖凡金銀ノ間ニ取り極ムヘキ法律上ノ價位ニ就
テ同意スル能ハス依テ此事項ニ係ル貨幣委員各位ノ意見ヲ添
付セリ

第三質疑

第三質疑ハ金銀兩本位ト共ニ合法紙幣ヲ存スルノ處置ト我
合衆國ノ勤勞殖業及ヒ賞賤上ニ其映響ノ如何トニ係ル
我輩委員思ヒテ現ニ我紙幣ヲ正金ト交換スルニ當リ其市價
正金ト同等同位ナルニ至ラサレハ紙幣ト正金トノ流行ニ維持
スルト能ハス蓋シ此質疑ノ答解ハ正金拂再行ニ係ル次ノ第四
問ノ答解中ニ蓄含スル所アルヘシト信ス

第四質疑

第四質疑ハ正金拂ノ再行ヲ便易ニナスヘキ良方法ハ如何ニ
係ル

我輩委員カ此事ニ関シ質問シタル証據人等ノ論説ト衆人ヨリ
我輩委員ニ寄送シタル書類中此事項ニ係ル意見ハ錯雜多端ニ
シテ互ニ矛盾シ他國ノ經驗モ亦我輩委員ノ為ニ補フ所些
少ニシテ信憑ヲ措クニ足ルヘキ決議ノ司ヲ結フニ足ルモノナ
シ

凡ソ是迄諸政府ヨリ直ニ發行シ強テ世上ニ通用セシメタル紙
幣ハ曾テ正金ト引換ノ了アリシハ甚タ稀少ナリト云フハ實事
ナルカ如シ凡ソ一國ノ紙幣ヲ引換ヘ正金ノ通用ヲ保續スルハ
常ニ其權衡ヲ失シ易キモノニシテ至難ノ事業ナリトス請フ見
ヨ露西亞及「ブラジル」ノ如キ廣漠ノ土地ヲ掩有セル現時ノ二

帝國ニ於テ曾テ此ノ如キ紙幣ヲ發行セシメアリ露西亞ニ於テ
ハ之レヲ行フコト百年間「ブラジル」ニ於テハ凡ソ五十年ナリキ
露西亞ハ此紙幣ヲ大ニ發行シ時々ペレシテ毎百ノ割合ヲ以テ正金ト引
換ヲナセリ「ブラジル」ニ於テハ紙幣ノ價格ヲシテ正金ノ價格ト
密ニシテ且堅固ナル地位ヲ保タシメタリ

政府ヨリ紙幣ヲ正金ト引換ヘタル一箇ノ著明ナル實例ハ千八
百二十一年英國ニ於テノ引換而已此時ニ當リ一時正金拂ヲ差
止タルハ名状ニ於テハ政府ヨリ差止タルニ非ラスト雖氏其實
英政府ト正金拂ヲ差止タル英國銀行トハ關係甚タ親密ナルモ
ノナルカ故ニ是即チ政府ノ差止ナリキ英政府ハ自ラ正金拂ヲ
停止シ其紙幣ヲ所有スル者ニ拂フニ下落シタル銀行紙幣ノ外
他ノ貨幣ヲ以テセサリシ

千八百二十一年英國ノ紙幣引換ハ當時實際ニ行ハレ殆ント三

十年間ニ亘リ此類ナキ貿易ト殖産ノ衰凋ヲ追起セシノ外他ニ
確然タル事跡ヲ遺サ、リシカ如シ

英國ノ經濟家及ヒ碩學鴻儒ハ其紙幣ノ引換ハ最良ノ方法ヲ以
テ行ハレタルヤ否ニ一致セス况ヤ當時ニ採用ス可キ良善ノ方
法ハ如何ンナリシヤヲ一致セサルナリ

故ニ今ヤ我合衆國カ採用スヘキ至當ノ方策如何ヲ我輩委員ニ
教示ス可キ歴史上ノ適例ヲ求ムルト雖モ得ルコト能ハス是ヲ以
テ我輩委員ハ只ニ一條ノ決議ニ至ルコトヲ得タルノミ即テ現状
ニ依レハ復令ヒ我合衆國ニ於テ紙幣ノ引換ヲ行ハントスルモ
金ヲ以テ一個ノ金屬合法貨幣トナスノ法律ヲ廢止セサレハ決
シテ實行スヘカラサルコト是ナリ未シ此等ノ法律ノ廢止ヲ待ス
シテ紙幣引換ニ着手スルハ千八百二十一年英國紙幣引換カ千
八百十六年ノ特ニ金貨ノミヲ本位ト取極メタル法律ニ映響ヲ

生シタルカ如ク方ニ合衆國ニ於テ獨リ金本位ヲ取極メルカ如
キニ至ラン

輓近諸國カ正金拂ヲ停止シ而シテ紙幣ニ倚頼シタル實事ヲ思
考スル時ハ金銀ノ両貨ヲ存共スト雖モ現時ノ物價ヲ維持スル
ニ充分ナルヤ否ヲ狐疑セサルヲ得ス是ニ由テ之ヲ觀レハ獨リ
金ノミヲ使用セハ其不充分ナルコト明了ナリ

大元宇内ニ於テ金ノ巨大ナル高ラ有スル國ハ日耳曼大額列強
及ヒ佛蘭西ノミニシテ貨幣ト地金トニ於テ以上三國カ有スル
金ノ總高ハ最モ高ク計算スルモ十三億弗ニ過キサルベシ其他
ノ國ニ於テハ地金ナリ貨幣ナリ金ノ著ルシキ巨額ヲ所有スル
ト云フ可キモノナシ

我輩委員ノ思察スル所ニ由レハ西半球ニ於ケル金ノ總額ニ百
政表家ノ平均算ハ大ニ實額ヨリモ多キモノト思ハル、ナリ

日耳曼國ハ如何ナル種類ノ内外債モナリ且ツ之ニ加フルニ佛
蘭西ヨリ迫取シタル償金十億ヲドルラレテ以テ單一金本位
學用スルノ處置ニ着手セリ

抑モ日耳曼國カ此ノ如キ福祥ナル國勢ニ當リ此處置ヲ奉用シ
テスラ價ホ貿易上ニ一大騷擾ヲ起シ一般ノ産業ニ衰弱ヲ來シ
タルヲ以テ推考スレハ公私巨額ノ負債アル我合衆國ニテ今此
處置ヲ採用セント固執セハ將來我合衆國ニ發生スヘキ理取上
ノ困難不幸ハ如何ソヤ其底止スル所得テ知ルヘカラサルナリ
是ヲ以テ我輩委貞ノ見ル所ニ依レハ復銀ノ奉コソ正金拂ニ欠
クヘカラサル處置ニシテ獨リ能ク正金拂ヲ實地ニ施行セシム
ルモノナルト信ス

夫レ正銀ノ二者ハ我合衆國ノ版圖内ニ産出シ其産出ハ我殖産
中ノ最モ緊切ナルモノナリ且ツ金銀ノ二者ハ正金拂ヲ再行ス

ルニ至緊至要ノモノナリ

此正金拂再行ノ舉タル如何ノ衷情ニ於テルモ決シテ行ヒ易キ
ノ事ニ非ラスト雖モ我合衆國ノ人民カ其往昔ヨリ慣用シ且ツ
我憲法上ニ於テ通貨ト定メタル貨幣ノ半ヲ剝奪ナレシニ非ラ
サレハ我合衆國人民ノ氣カハ能ク此處置ヲ行フニ堪フヘキモ
ノナリ

我合衆國ニ於テ銀貨ヲ通貨ニ復セハ佛蘭西ハ勿論其他歐羅巴
ノ未タ金銀兩本位ヲ法律上ト理論上トニ於テ維持スル諸國ノ
銀貨ヲ廢棄スルノ舉ヲ遏止センカ為メニ強勢ナル影響ヲナシ
恐ラクハ終ニ之ヲ遏止スルト得ン然レモ若シ我合衆國カ銀
貨ニ復スルモ猶ホ歐羅巴諸國カ廢銀ノ舉ヲ行ハ、我カ不用ナ
ル物品ヲ彼ニ輸出シ我ニ要用ナル貨幣ヲ輸入セハ是亦我合衆
國ノ為メニ有益ナル貿易ヲ生スルモノト云フヘシ

將來歐羅巴大陸ニ於テ廢銀ノ舉ヲ行ハ、其販賣スヘキ銀貨ハ
假令ニ金額ニアラストモ我ヨリ彼ニ輸出シタル物品ノ代價
ナリテ我合衆國ニ入來ルヘシ況ンヤ平素能ク己ノ利害得失ニ
注意スル我商人ノ方ヨリ彼ニ拂フヘキ負債モナク又金銀何レ
ヲ受取ルモ防ケンキノ取引ニ於テハ銀貨ノ我合衆國ニ入來ス
ル論ヲ跋ス

此ノ如キ貿易ハ固ヨリ我合衆國ノ商業ヲ大ニ獎勵シ我ニ有利
有益ナル取引ヲ為サシメン₁必然タリ歐羅巴諸國ハ忽然其巨
額ノ銀ヲ賣リ拂フニ當リ一時價格ノ下落ヲ生スルヲ以テ毫末
ノ損失ヲモ受ケスシテ之ヲ賣拂フ₁アタハス然ルニ此歐羅巴
諸國ノ損失ハ其價格舊位ニ復スル時ハ即チ買取者ノ所得ト化
スルニナリ

歐羅巴ノ銀貨ヲ以テ我國ニ充溢スルハ重大ナル危難ノ如ク恐
懼スルモノアリト雖此是只貨幣ノ形状ヲ為シタル高價金屬ノ
一介ヲ以テ我國ニ充溢スル迄ニシテ一朝我合衆國ニ於テ銀貨
ヲ通貨ニ復スルキハ即チ一通貨ヲ以テ我國ニ充溢スルノミナ
リ銀ハ是歐羅巴ト貿易ヲナシテ以テ得ルモ亞米利加ノ銀鑛ヨ
リ得ルモ即チ一ナリ故ニ我合衆國カ銀ヲ外國ヨリ得ルニ抗抵
スルモノハ我本國ノ銀鑛ヲ閉塞セン₁ヲ希願セサルヲ得ス豈
又愚ナラスヤ

我合衆國ニテ金銀兩本位ヲ再用セシ後カ或ハ又我合衆國カ之
ヲ再用シタル故ヲ以テ羅甸聯邦ノ諸國其他歐羅巴ノ諸國カ金
銀ノ兩本位ヲ放棄セハ此等ノ國ヨリ我合衆國ニ大利益ヲ與ヘ
自國ニハ大不幸ヲ来スヘキ處置ヲナスモノト云フヘシ果シテ
此更アラハ我合衆國ハ有利有益ナル貿易ニ由テ得タル實算ノ
貨幣ニ據リ又我合衆國ノ殖産ト貿易トヲ必然獎勵スヘキ事情

ニ據テ以テ繁榮ノ一新期ヲ生スヘシ
我輩委實ハ既ニ日耳曼瑞典那威連馬ニ於テ金ノ單一本位ヲ採
用シタルト其他歐羅巴諸國ニ於テモ亦之ヲ採用スヘシトノ
ハ我合衆國ニ於テ之ヲ採用スヘキ企テ主張スル理由ニ非ラス
シテ却テ此ノ如キ企テ實行スル丁能ハサラシメ強之ヲ實行セ
ハ我合衆國ヲ破産ノ中ニ墜落セシメントスルノ實事ナリト信
ス若シ歐洲大陸ノ諸國カ金銀兩本位ヲ採用セハ我合衆國ニ於
テ金ノ單一本位ヲ用ユル丁得ヘシ何トナレハ此際ニ於テハ
歐洲諸國カ金ヲ以テ銀ト自由ニ交換スヘケレハナリ千八百二
十一年ニ英國ヲシテ金貨ヲ以テ正金拂ヲ再施スル丁得セシ
メタルハ即テ此事情ニ由テナリ
抑モ金ノ單一本位ヲ採用スルハ之ヲ採用セン丁ニ從事スル國
ノ數ヲ増シ又大國ノ之ニ從事スルニ隨ヒ愈々以テ困難ノ事ト

ナレリ而シテ之カ幣害モ亦タ同一ノ割合ヲ以テ巨大ナレリ我
合衆國ヲシテ歐羅巴諸國ト金ノ單一本位ヲ以テ競争セシメン
丁ヲ建議スルハ勤勞及ヒ物品ノ價格ヲ減シ負債ノ利金ヲ増シ
又富ヲ減少シ以テ之ヲ一所ニ集聚スルノ危險ナル競争中ニ我
合衆國ヲ墜落スルモノナリ而シテ此害マ只ニ其競争ニ於テノ
敗北者ノミナラス勝利者モ亦タ俱ニ蒙ラサルヲ得サル所ニシ
テ其底止スル所得ヲ知ルヘカラサルナリ

- 「テヨン、ピ、ジョンズ」
- 「リウエス、ウイ、ボデー」
- 「シヨ、デ、ウイラルド」
- 「アール、ピ、ブランド」
- 「ウエリヤム、エス、グロースベック」

金ト銀トノ間ニ法律上ノ價位ヲ取リ極メシトニ付キ「ジョ
ンス」ウイラルド「ボジ」三氏ノ説

我輩連署人ハ我合衆國ニ於テ金ト銀トノ間ニ法律上ノ價位ヲ
取リ極メシトナレハ金一ニ付銀十五半ヲ以テ至當ナリトスル
ノ説ナリ歐羅巴洲中ニ於テ獨リ荷蘭國ノミハ假ニ金一ニ付銀
十五十分ノ六ヲ以テ金ト銀トノ間ノ法律上ノ價位ト定メ金銀
兩本位ヲ採用シタリト雖モ其他ノ金銀兩本位ヲ用エル國々ハ
皆金一ニ付銀十五半ヲ以テ法律上ノ價位トナセリ

佛蘭西國ノ如キハ千八百三年以來金一ニ付銀十五半ヲ以テ法
律上ノ價位トナシ此價位ニ由リ鑄造シタル金銀貨幣通用ノ現
額ハ大凡十六億ニ垂ントス此莫大ナル通貨ノ中金部カ或ハ銀
部カノ改鑄ヲ要サルヲ得ナル價位變更ヲ肯ンスヘシト佛國
ト期望ヲ懸ルハ不條理ノ事ト云ハサルヲ得ス佛蘭西及ニ其他

羅甸聯邦ノ諸國ハ千八百八十年ニ至ルマテ相互ニ法律上ニ公
テ取り極メタル金銀ノ價位ヲ變更ス間敷キ事ヲ締約シタリ將
来歐羅巴ニ於テ金一ニ付銀十五半ヨリ他ノ割合ヲ以テ金銀兩
本位ヲ保存セントハ決シテ能ハサルナル又誰カ條理上ニ於テ
之ヲ保存シ得ヘキ理由アリト云ハンヤ故ニ歐羅巴諸國ノ造幣
寮ニ於テ再ニ銀貨ノ限ナキ鑄造ヲ開クニ至ラハ倫敦府ノ貨幣
市場ニ於テ地銀ノ相場ハ以前ノ如ク一「オンズ」ニ付金六十「ベン
ス」百分ノ八十七トナラサルヲ得サルハ必然ナリ若シ此ノ如ク
ナラサルモ非常ノ懸隔ナキ價トナラント必セリ

今ヤ我合衆國ニ於テ銀量四百十二「グレイン」半ヲ以テ銀「ドルラ
ル」ノ量トシテ之ヲ再鑄シ特ニ金「ドルラ」ヲ改鑄セサレハ金
ト銀トノ間ニ金一ニ付銀十五百分ノ九十八ノ割合トナリ即チ
金銀ノ間ノ法律上ノ價位ヲシテ銀一「オンズ」ニ付金五十九「ペン

ストナルナリ此ノ如クスレハ銀ノ地金相場ハ却テ法律上ノ價
位ヨリ三分方高價ナレハ到底其歸着スル所ハ遂ニ我カ合衆國
ノ銀貨鑄造ヲ輟ムルニ至ラン又其鑄造ヲ輟メサルモ銀貨ハ鑄
造セラル、ヤ否我國內ニ通用セスシテ皆外國ニ輸出セラル、
ヤ必然ナリ

此事ハ千八百三十四年及ヒ三十七年ニ議定シタル法律ニ依リ
我合衆國ニ於テ金銀ノ間ノ價位ヲ金一ニ付銀十五百分ノ九十
八ト取り極メタル以テ現ニ發生セシ景況ナリ故ニ今又我合衆
國ニ於テ此價位ヲ再ニ設立シ且歐羅巴諸國カ貨幣ノ限リナキ
鑄造ヲ開キ金銀兩本位ヲ保存セハ再ニ其景況ヲ生スルヤ瞭々
タリ

我合衆國ニ於テ銀貨ヲ復スルノ法案ヲ決議スルモ其後銀ノ價
位タル歐羅巴ノ兩本位ヲ用エル諸國ノ造幣寮カ銀貨ノ鑄造ニ

再ニ着手スルニ至ラハ其流通ヲ遏ムルカ如キモノナラシムル
ハ此等諸國ノ造幣寮ヲシテ永久銀貨ノ鑄造ヲ廢セシムルニ至
ラン我國ニ於テ歐羅巴各國ト同等同位ノ價位ヲ以テ銀貨ヲ鑄
造スルヲ肯ンセシテ終ニ我國ノ銀貨鑄造ヲ實際ニ於テ遏
ムルカ如キ價位ヲ取り極ノ佛蘭西國ニ對シテ其鑄造ヲ企望ス
ルヲハ能ハサルナリ

我國ニ於テ金「ドル」貨幣ヲ改鑄セヌ又歐羅巴ノ金銀兩本位
ヲ用エル諸國ノ造幣寮ニ於テ金銀兩貨ノ限りナキ鑄造ヲ開ク
時ハ我四百十二「グレ」半ノ銀量ヲ含メル銀「ドル」貨幣ノ
地金相場ハ金ノ一百三「ペン」トナラサルヲ得ス故ニ我國ノ銀
貨ハ自然外國ニ流出シ而シテ獨リ金本位ヲ用エル國ニ於テ貿
易上カ或ハ理財上ノ變事ニ因テ稍々非常ナル金貨ノ需求ヲ醸
生シ金價漸々騰貴シテ竟ニ銀貨ト同等同位ニ至ラサレハ其銀

貨ハ自國ニ歸還スルヲナカルヘシ此ノ如キ需求ノ成果ハ勿論
我國ノ金貨ヲ吸飲シ盡クスト雖モ其金貨ノ吸飲益々盛ニシテ
全ク三分ヲ金貨ノ價ヲ騰貴スルニ至ラサレハ銀貨流入シテ金
貨ノ缺乏ヲ裨補スルヲ得サル可シ
前段ニ反シテ若シ我金銀ノ價位ヲシテ金銀兩本位ヲ用エル歐
羅巴諸國普通ノ價位ト同一ナラシムレハ金銀兩貨ノ價格カ苟
モ差違ヲ生スレハ其都度ノ銀貨ハ忽チ我國内ニ流入シ或ハ忽
チ國外ニ流出ス可シ譬ヘハ獨リ金本位ノミヲ用エル國ニ於テ
金貨ノ非常ナル需求ヲ生スルニ當テハ之ニ應スルニ我金貨ヲ
以テスレハ銀貨忽チ外邦ヨリ流入シテ金貨ノ缺乏ヲ補ヒ獨リ
銀本位ノミヲ用エル邦國ニ於テ銀貨ノ非常ナル需求ヲ生スル
ニ當テハ我銀貨ヲ以テ之ニ應スレハ金貨忽チ外國ヨリ流入シ
銀貨ノ缺乏ヲ補塞ス可シ

此ノ如ク金銀二者ノ間ニ平均ヲ維持シ得 時ハ金若クハ銀ニ
對シ外國ノ非常ナル需求アリ依テ以テ生スル價格ノ變動ヲ防
キ能ク我カ貨幣市場ノ無事ヲ保護スルヲ得ヘシ是實ニ計ル
可ラサル利益アリト雖比一千八百三十四年ト一千八百三十七年ト
ノ兩年ニ貨幣制法ヲ議定シタル以來我カ合衆國ノ曾テ享ケナ
ル所ニシテ又其以前ニ於テモ充分ニ受ケ能ハサリキ
金銀貨幣ノ價位ヲ此ノ如ク平均シ得ル時ハ理財上ニ困難ヲ生
スルモ手ヲ拱シテ其大害ヲ致スヲ倚觀スルヲ要セスシテ直チ
ニ其端緒ニ於テ之ヲ癒シ金銀兩者ヲ用ヒテ以テ我國ノ利益ヲ
計畫スルヲ得ベシ

今マ我國 於テ銀貨ノ鑄造ヲ再行セント欲セハ金銀ノ價位ヲ
シテ最モ能ク其不変ト永續トヲ維持センコソ緊要ナリ何ト
ナレハ價位ノ不変ト永續トハ各國貨幣法ノ第一緊要ノ性質ナ

ハナリ

既ニ歐羅巴諸國ニ於テ金一ニ付銀十五半ノ價位ヲ以テ鑄造セ
ル銀貨ノ總額莫大ナルハ是我合衆國ニ於テ一回其價位ヲ取り
極ムル時ハ永ク變更ヲ要スルコトナク保續シ得ヘキノ最モ確實
ナル保証ト云フヘシ

或人ノ建議ニ依レハ先ツ舊ニ依リ金一ニ付銀十五百分ノ九十
八ノ割合ヲ以テ銀貨ヲ被シテ再鑄シ價位變更ノ事ハ他日萬國
會議ノ時ニ當リ議スヘシト然レモ我輩連署人ハ此議ヲ以テ不
可ナリトス何トナレハ萬國會議ヲ開クノ時ニ當テ斯ノ如キ變
更ヲナセハ既ニ世上ニ流通シ以テ實地價格ノ本位トナリタル
銀貨ヲ改鑄セサルヘカラサルノ不便ト且其費用ヲ要スルノミ
ナラス又金ト銀トノ間現時ノ法律上ノ價位ハ只一時ノモノニ
シテ直チニ變更ヲ蒙ル可シトノ疑惑ヲ人ノ腦裡ニ生マシメ

人民ヲシテ愈々貨幣本位ニ其信憑ヲ置カザラシムルニ至ルベ
ケレハナリ

今マ我國ニ於テ金一ニ付銀十五半ノ價位ヲ取極メント欲セハ
銀「ドル」ラ「ル」ノ量目四百十二「グレイン」半ヲ減シテ三百九十九十
分ノ九トナス可シ或ハ金「ドル」ラ「ル」ノ量目ニ十五「グレイン」十分
ノ八ヲ増加シテ二十六「グレイン」十分ノ六トナスヘシ然レニ我
輩連署人ハ此兩法孰レニ依テ眼目ヲ達セントスルモ之ニ附着
スル困難ヲ敢テ知ラサルニ非ス

舊金「ドル」ラ「ル」ノ量目ヲ増加マンカ其巨額ヲ改鑄スルノ不便ア
リ且其費用ヲ要スベシ

又我輩連署人ハ金一ニ付銀十五半ノ價位ヲ以テスレハ金銀貨
幣ノ平均ヲ確然永存シ得ヘキコトヲ稔知ス然レニ若シ銀量三百
九十九十分ノ九ニ減少シタル銀「ドル」ラ「ル」貨幣ヲ鑄造スル時ハ

曾テ契約ヲ締結セシ時現ニ通用セシ純量ト量目ノ貨幣ヲ以テ
拂ヒラ為ス可キ諸般ノ契約ニ損害ヲ來コトナク能ク其責ヲ盡
サシムヘキ處置ヲ為スニ於テ若干ノ困難ヲ免レサルコトヲ知ル
然ト雖此等ノ難事ハ至當ノ法ヲ設ケ以テ容易ク救済スルコ
トヲ得ヘキモノタリト信ス故ニ金一ニ付銀十五半ノ價位ヲ取り
極ムヘキ兩箇ノ方法ニ就テ其利害得失ヲ計較スルノ後テ我輩
連署人ハ舊銀「ドル」ラ「ル」ノ量目四百十二「グレイン」半ヲ三百九十
九「グレイン」ニ減少スルヲ可トスルノ説ナリ

我輩連署人ハ又爰ニ一言ノ加フヘキモノアリ他ナシ我議事院
ニ於テ金一ニ付銀十五半ノ價位ヲ以テ銀貨ノ再造ニ着手スル
件ハ今各地ヨリ建議セラレタル万国會議ヲ開クノ主意ヲ一モ
遲滞ナク建スルコトヲ得ヘシ萬國會議ノ席上ニ於テハ歐洲各國
ヲシテ其普通ノ價位タル金一ニ付銀十五半ノ割合ヲ廢棄セ

ノ金一ニ付銀十五「グレート」百分ノ九十八ナル舊亞米利加國ノ
價位ヲ採用セシメシトハ決シテ説キ得ベキトニアラス且金望
スヘカラサルモノタルカ故ニ到底此會議ニ於テ成功スヘキ所
ノモノハ金一ニ付銀十五半ナル歐洲一般ノ價位ヲシテ我合衆
國ニ承諾セシムルノ外他ナラサルヘシ我合衆國ノ議事院ヨリ
法ヲ以テ金一ニ付銀十五半ノ價位ヲ取極ムルハ是金銀兩本位
ヲ用ユル歐羅巴諸國ニ對シ同意ヲ表示シ得ヘキノ最モ公正ナ
ルモノニシテ且果斷ナル處置ナラン否只ニ同意ヲ示スノ處置
ノミナラス實地ニ同意ヲ履行スルモノト云フ可シ繼令ニ萬國
會議ヲ開キクリト雖氏其會議ハ只ニ忠告ヲナスノ會議ニ過キ
サルナリ或國ハ我カ憲法ニ基ツキ其會議ノ席ニ代議人ヲ出シ
以テ建議ヲナシ得ヘシト雖氏其他ノ權ヲ此代議人ニ委任スル
トヲ得ス金ト銀トノ價位ノ如キハ獨リ民選議院ノ權カヲ以テ

取リ極ムルトヲ得ヘキモノニシテ大統領ト上院ニ屬スル條約
權ノ範圍ノモノニ非ラサルナリ

我國ヨリ歐羅巴諸國ニ對シテ金ト銀トノ間ニ萬國ト同一ナル
價位ヲ取リ極メ以テ金銀兩本位ヲ採用セントヲ建議シ能ク其
功ヲ奏シ得ヘキハ只ニ我國ニ於テ金一ニ付銀十五半ノ割合ヲ
以テ銀貨ヲ鑄スルノ議ヲ決スルノ後ニアリ

我輩連署人ハ既ニ論説セシ如ク後來歐羅巴ノ政略如何ヲ問ハ
ス我合衆國ハ銀貨ヲ回復セシムルハアルヘカラスト信ス又我輩
連署人ハ金ト銀トノ價位ヲ一ニスルトヲ歐羅巴諸國ニ建議ス
ルノ良策ナルヲ信スルト雖氏前以テ我國ノ金銀ノ價位ヲ金一
ニ付銀十五半ト取リ極ムルノ法ヲ設立スルノ後此建議ヲ呈
スルヲ以テ最上ノ策ナリト信ス金ト銀トノ間ニ取リ極ム可キ
至當ノ價位如何及ヒ價位ノ永續不変ヲ最モ能ク保存シ得ヘキ

割合如何等ニ係リ徒ラニ異説ヲ主張シ銀貨ヲ復スルノ決議ヲ
妨害スヘカラサルヲ要ス
我輩連署人ノ大眼目ハ銀貨ヲ回復スルニアリテ金ト銀トノ間
ニ精密ナル法律上ノ價位ヲ取り極ムルハ左迄貴重スル所ニ非
サルナリ

金ト銀トノ間ニ法律上ノ價位ヲ取り極メン^トニ付^クグロ
スベック^ク氏ノ説

我輩委員前キニ進呈セル報告書ヲ以テ銀貨ヲ我通貨ニ復シ
テ以テ金貨ト同等同位ノ貨幣ト為シ^ルソ公私ノ諸負債ヲ辨償
スル為メノ合法貨幣トナスヘキ^トヲ建議セリ
此處置ハ能ク債主ト負債主ノ間ニ公正ヲ維持シ物産ヲ増殖シ
工業ヲ奨励シ紙幣ノ引換ニ着手スル^トヲ得セシムルニ緊要ナ
リ賢良ナリ安穩ナリト云フト雖^レ過譽ト為スヘカラサルナリ
抑^テ我合衆國ニ於テ獨リ金貨ヲ以テ本位ト定メシ^トハ實ニ是
迄三年間タリシト雖^レ折節同年間ニ於テハ紙幣ノ交換一時差
止ニ際シタルヲ以テ未^ダ能ク金本位ノ可否ヲ試ムルニ遑^ナカ
リシ

我合衆國ハ右ノ如ク獨リ金本位ヲ用ヒタルハ是迄只ニ三年間

ハミニシテ自他ハ皆金銀ノ兩本位ヲ採用セリ
我合衆國ノ之ヲ用ユルノ如ク夫レ又シク隨テ能ク其可否
ヲ試ムルヲ得タリト雖氏我合衆國ハ金銀ノ兩貨ヲ合法貨幣ト
シテ使用シタルヨリシテ是迄毫モ損害ヲ被リシト聞知セス
却テ我合衆國ハ金銀ノ兩貨ヲ使用シテ大ニ繁榮ヲ致セリ
抑モ此金ト銀トノ兩貨ハ我合衆國ノ國憲ヲ以テ預メ我合衆國
ノ通貨ト定メタルモノナリ我各州ノ憲法中ニ記載セル通貨タ
リ此通貨ハ我合衆國人民ノ慣用スルモノニシテ我人民ノ平素
満足スル所ノモノタリ
嚮キニ廢銀ノ令アリシヤ是苟モ人民ノ需求ヨリ出テシモノニ
アラス是以テ我輩委員ハ實ニ曰ニ依リ銀貨ヲ復シテ通貨ト
為サントヲ建議セリ
我輩委員ハ銀貨ヲ復シテ通貨ト為スノ說ニ於テハ異說ヲ唱フ

一者一人タモ之ナシト雖氏金銀二者ノ間ニ取り極ムヘキ價位
ニ付テ同意セサル所アリ即チ委員ノ中若干ハ旧銀貨ノ量目四
百十二「グレイン」半ヲ減少シテ實ニ三百九十九「グレイン」九分ニ
ナサントヲ建議スルモノアリ
抑モ金貨ト舊銀貨トハ其量目金一ニ付銀十五ト百分ノ九十八
ノ價位ニシテ即チ金一ニ付銀十六ノ割合タリ然ルニ今委員ノ
中若干ヨリ建議セシ金貨ト銀貨トハ金一ニ付銀十五半ノ割合
ナレハ之ヲ要スルニ此委員ノ建議スル所ノ新銀貨ハ舊貨ヨリ
價格ノ下ル丁三分ニ及ハン余爰ニ見ル所アリ此量目変更ノ議
ニ同意スルアタハス余カ見ル所ハ舊銀貨ノ量目ヲ變セズシテ
其儘相存スルニアリ
余ト異論ヲ唱フル者ノ言ニ曰ク舊銀貨ハ其量目多クシテ過分
銀ヲ含メリ是故ヲ以テ常ニ價位貴ク其市場ニ於ケルヤ絶ヘ

増歩ヲ取テ金貨ト交換スルノ状勢アリ故ニ我國內ニ流通セ
スシテ地金トナツテ我國ヲ去ルヘシト論者ノ抗論スル所大槩
此クノ如シ

此論或ハ論者ノ唱フル如ク夫レ然ラニ然リト雖モ若シ此舊銀
貨ヲ以テ金ト交換シ或ハ商品ト交換スルトモ其價額大ケハ乃
チ我國ニ還歸スルモノナリ

我合衆國ハ銀ニ富メル國ナルヲ以テ將來此ノ如キ交換ヲ再三
再四反復スルモ毫モ我國ニ差支ハアルヘカラス

輒近ニ至リ銀價非常ニ下落シ今ニ及ンテモ尚ホ金ニ比スレハ
少シク同價ニ昇ラサル丁ニ能ク注目セシムハアルヘカラス
世上或ハ未ダ銀價ノ變動如何シヲ疑ヒ金ヲ徧愛スル者多キニ
居ル而シテ又能ク此等金屬ノ歴史ヲ觀察スレハ金ト銀トノ價
位ノ比例ニ於テ昔ヨリ僅カニ隔離アル丁ニ証徴ス可シ

若シ金ト銀トノ間ニ確然タル價位ヲ取リ扱ノ両ツナカラ通貨
トシテ用ヒラル、ノ日ニ於テハ其割合ノ變動ヲ防キ随テ之ヲ
一定ニ保持スル等ニ於テ法律ノ功大ナルヘシト雖モ何等ノ成
文律ヲ以テスト雖モ此割合ヲシテ決シテ變動スル丁ニ勿ラシム
ル能ハス

夫レ金銀ノ内孰レカ多キニ過キ孰カ寡ナキニ過キル等及ヒ其
使用ノ廣狹等ハ皆幾分カ其價位ヲ昇降スル所以ノ原由ナリ
此ノ如ク多寡廣狹ニ依テ價位ノ變動ヲ生スル丁ニ金銀ノ現狀
トヲ觀察セハ我輩委實ハ金ト銀トノ割合ヲ縮減スルヨリ却テ
廢銀以前ノ如ク銀貨ノ多量ナル銀貨ヲ保ツ丁ニ至要ナルヘ
シト信ス

彼歐洲即チ佛國ノ割合タル金一ニ付銀十五半ノ割合ニ倣ヒ我
合衆國ニ於テ銀貨ヲ復シテ流通セシメハ銀ト金トノ並行ヲ

保テ随テ能ク歐洲ニ行ハル、丁モ之レアルベシト雖氏余ヲ以テ之ヲ觀ルニ我カ舊來ノ割合ナル金一ニ付銀十六ノ割合ニ倣ヒ今銀貨ヲ復鑄セハ其好結果ヲ生スルヤ期スヘシ且ツ未タ人ノ銀貨ノ下落セントニ就テ狐疑ノ念ヲ懷ク所ヲモ參考セハ右ノ割合コソ一層人心ニ適シ且ツ正當ナラント思考ス抑モ我輩委實カ金一ニ付銀十五半ノ割合ヲ我合衆國ニ適用セシト主張スル所以ノモノハ他ナシ此金一ニ付銀十五半ノ割合タル廣ク羅甸聯邦ノ用ユル所ナレハ我合衆國ニ於テモ之ヲ適用セハ羅甸聯邦モ其際ニカヲ得随テ又我合衆國モ此ニカヲ添ユル所少カラサルヲ以テナリ

金ト銀トノ間ニ取り極ム可キ價位ニ付テハ可成的鞏固不変ヲ要セサルヘカラス而シテ其好結果ハ金銀兩本位ヲ用ユル諸國ニ於テ同一ナル價位ヲ用ユルニ因テ獲收シ得ヘシトノ説ハ實

ニ是ナリ假令荷蘭國ハ羅甸聯邦ニ接近シテ少差アル價位ヲ取り用ヒタルモ敢テ困難ヲ生セス此ノ如キ處置ハ各國互ヒニ連接シタル國民ヲ以テ組成シタル羅甸聯邦ニ於テハ必要ナリト雖氏我合衆國ハ遙カニ遠隔ノ地位ニアルヲ以テ此ノ如キ處置ハ殊ニ我國ノ状態ニ適切ナル他ノ處置ニ一步ヲ讓ラサルヘカラス

余ハ敢テ云ハントス我合衆國及ヒ羅甸聯邦ハ素ヨリ其他歐羅巴中ノ冠タル國ニカ萬國一統ノ價位ヲ取り極メシト議スル為メニ萬國會議ヲ開クノ時ニ至レハ金銀ノ現時ノ相場ヲ觀察シテ以テ我自國ノ價位ヲ以テ金一ニ付銀十五半ナル歐洲ノ價位ヨリモ一層鞏固ニシテ且ツ正當ナルモノトシテ之ヲ用ヒン

ト
我合衆國ハ此盛大ノ會議ヲ以テ其事ヲ評議決了スルマテハ我

カ舊價位ヲ其儘保存スルヲ以テ無事ナリトス
此價位ハ是既往ニ於テ能ク我國情ニ適セルモノナレハ將來ニ
於テモ亦タ能ク我カ人民ノ望ニ適スヘシ且我カ合衆國ハ此價
位ヲ保存スヘキ充分ノ資カアリ
我カ合衆國ノ方今急務トスル所ハ近頃公告シタル廢銀ノ令ヲ
取消シ舊銀貨幣ト毫モ差異ナキ銀貨ヲ復鑄スルスルニアルナ
リ此舉タルヤ淺薄ニシテ行フニ易ク且凡百ノ困難ヲ避クル
ヲ得ヘシ輒近非常ノ衆說ヲ以テ決議シタル 稿案ニ因テ此一舉
ハ半ハ既ニ成就セリ故ニ銀貨ヲ復スルノ捷徑ハ其舉ノ結了ヲ
謀ルニアリ
今ヤ銀^{ドル}ラ^ル貨幣ノ銀量ヲ減省セン^ト建議セハ暫ラク此
舉ヲ不問ニ措カサルヲ得ス而シテ其新案ヲ申出スレハ隨テ討論
ヲ要シ論議分列時日遷引ニ流レ竟ニ孰レノ價位ニ據テ銀貨ヲ

九十

復鑄セントスルモ其議ヲ妨害スルニ至ラシ貨幣委員中或委員
ノ建議ニ依レハ方今我國ニ於テ何事ヲモ為^トス決シテ期スヘ
カラサル萬國會議ノ評議ニ復銀並ニ價位取り極メ等ノ事ヲ委
シ其會議ノ迂遠曖昧ナル建議ヲ待ツヘシトノ議ナリ然レ氏此
萬國會議ノ如キハ曾テ聞キシ^トアリ千八百六十七年佛京巴理
ニ於テ會合セシモノ即チ是ナリ此席ニ列セル國ハ歐羅巴中ノ
冠タル諸國及ヒ合衆國等大凡二十餘國ニシテ其評議ノ慎謹ナ
ル其議論ノ雄快ナル實ニ人心ヲシテ驚駭セシメタリト雖氏實
地上ニ於テハ何等ノ成果ヲモ結^フ了能ハスシテ解散セリ一地
方ノ緊要ナル事件ヲ調理センカ為^メニ此ノ如キ迂遠ノ策ヲ用
ユルハ是其事ノ結了ヲ無限ノ猶豫ニ附スルト一般ナリ
今ヤ紙幣引換ノ事ニ付一言ヲ贅セン抑モ此問題ニ付キテハ數
多ノ憑據ヲ聚集シ得タリ我輩委員ハ英明練達ナル學士等ノ意

見テ報告書ト共ニ進呈スルト雖モ其意見ノ相合ハサルヤ遙カ
ナリ故ニ紙幣引換ノ真ノ良法ハ未タ世人ノ眼疆ニ入ルヘキ程
充分ニ其全局ヲ發露セスト是貨幣委員ノ衆評ナリ只委員カ
誠ニ同意スル所ハ紙幣引換ハ復銀ノ後ニ非レハ行ハルヘカラ
ストノ説ノミ

グロスベック

金ト銀トノ間ニ法律上ノ價位ヲ取り極メシトニ付キ「
ント」氏ノ説

貨幣委員中ノ若干員カ建議シタル如ク金一ニ付銀十五半ノ割
合ヲ取り極メ以テ我國ノ貨幣法ヲ外邦ノ貨幣法ト同一トナス
ノ緊要ナルハ余モ亦同意タリト雖モ曾テ公私數多ノ負債ヲ契
約シタル時ニ流通セシ金銀貨幣ノ割合ヲ今遽カニ變更セント
欲マハ余ト略々同説ナル「
グロスベック」氏ノ書上ニ卓然論述セ
ラレタル道理ニ原シ我合衆國ニ於テ銀貨ヲ復スルノ議ヲ害シ
其成功ヲ危フセン「
ト」ヲ恐ル何トナレハ復銀ノ量如何ヲ問ハス
一圓之ヲ用ユル時ハ之ヲシテ契約ノ公私ニ拘ハラス其過去未
來ニ屬スルニ均ハラス總テ契約上ノ義務ヲ盡クスニ於テ金貨
ト均シク併行セシメシムンハアルベカラサレハナリ若シ此ノ如
ク金銀貨幣併行スルニ非レハ金銀兩貨ヲ用ユルモ亦何ノ益ア

九十一

ラ
ン
ヤ

ブ
ラ
ン
ド

カ
ル
ス

